

費目別支出内容一覧表

議員名 河村敏夫

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・(事務費)・人件費			整理番号	3	
事業内容	7ヶ月の広報費					
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容		
	4月～3月(2ヶ月)	43,143	43,143			
		《合計》	43,143	43,143		
	按分割合 積算根拠					

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	3-1
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

2018年4月20日

収入
印紙

取扱者

領 収 証

河村 敏夫 殿

¥6,354

但し

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘 法

〒730-0052 本 社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6964 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥6,354	
手形		
相殺		

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	2-2
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証

河村 敏夫 殿

¥2,689

但し

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘法

〒730-0052 本社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6994 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

2018年5月22日

収 入
印 紙

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥2,689	
手形		
相殺		

取扱者

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	P-3
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領 収 証

河村 敏夫 殿

¥2,160

但し

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘 法

〒730-0052 本 社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6964 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

2018年6月21日

収 入
印 紙

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥2,160	
手形		
相殺		

取扱者	●
-----	---

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	3-4																				
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"><u>領収証</u></p> <p style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">河村 敏夫 殿</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> ¥2,160 </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">但し</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">上記の金額正に領収致しました</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">株式会社 弘法</p> <p style="margin-left: 20px;">〒730-0052 本社 広島市中区千田町1丁目3-4 TEL (082) 243-4455 (代)</p> <p style="margin-left: 20px;">〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1 TEL (083) 922-6964 (代)</p> <p style="margin-left: 20px;">〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101 TEL (0834) 31-5033 (代)</p> <p style="margin-left: 20px;">〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34 TEL (0836) 34-1120 (代)</p> </div> <div style="width: 45%; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">2018年7月23日</p> <div style="border: 1px dashed black; width: 80px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 収入 印紙 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区別</th> <th style="width: 15%;">金額</th> <th style="width: 70%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小切手</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>振込</td> <td style="text-align: center;">¥2,160</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手形</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>相殺</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center;">取扱者</td> <td style="width: 50px; text-align: center;"></td> </tr> </table> </div> </div> </div>				区別	金額	摘要	現金			小切手			振込	¥2,160		手形			相殺			取扱者	
区別	金額	摘要																					
現金																							
小切手																							
振込	¥2,160																						
手形																							
相殺																							
取扱者																							

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	2-5
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証

河村 敏夫 殿

¥2,160

但し

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘法

〒730-0052 本社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6964 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

2018年8月21日

収
入
印
紙

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥2,160	
手形		
相殺		

取扱者

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	3-6
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

2018年9月21日

収入
印紙

取扱者

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥5,851	
手形		
相殺		

領収証

河村 敏夫 殿

¥5,851

但し

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘法

〒730-0052 本社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6964 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	3-7
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証

河村 敏夫 殿

¥3,397

但し

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘法

〒730-0052 本社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6964 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

2018年10月22日

収入
印紙

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥3,397	
手形		
相殺		

取扱者 

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	3-8
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証

河村 敏夫 殿

¥2,160

但し

2018年11月20日

収入
印紙

取扱者	
-----	--

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘法

〒730-0052 本社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6964 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥2,160	
手形		
相殺		

領収書等添付票

費目	賞 務	整理番号	3-9
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

領 収 証

河村 敏夫 殿

¥4,317

但し

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘 法

〒730-0052 本 社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6964 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

2018年12月20日

収 入
印 紙

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥4,317	
手形		
相殺		

取扱者

領収書等添付票

費目	雑務費	整理番号	5-10
----	-----	------	------

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証

河村 敏夫 殿

¥2,160

但し

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘 法

2019年1月22日

収 入
印 紙

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥2,160	
手形		
相殺		

取扱者	
-----	--

〒730-0052 本 社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6964 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	3-11
----	-----	------	------

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証

河村 敏夫 殿

¥5,307

但し

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘法

〒730-0052 本 社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6964 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

2019年2月20日

収入
印紙

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥5,307	
手形		
相殺		

取扱者	
-----	--

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	3-12
----	-----	------	------

【領収書その他の書面の添付欄】

領収証

河村 敏夫 殿

¥4,428

収入
印紙

2019年3月20日

取扱者	
-----	--

但し

上記の金額正に領収致しました

株式会社 弘法

〒730-0052 本社 広島市中区千田町1丁目3-4
TEL (082) 243-4455 (代)

〒753-0871 山口営業部 山口市朝田 1800-1
TEL (083) 922-6964 (代)

〒745-0047 周南営業部 周南市入船町1-8-101
TEL (0834) 31-5033 (代)

〒755-0023 宇部営業部 宇部市恩田町5丁目1-34
TEL (0836) 34-1120 (代)

区別	金額	摘要
現金		
小切手		
振込	¥4,428	
手形		
相殺		

費目別支出内容一覧表

議員名 河村敏夫

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・ 事務費 ・人件費		整理番号	4
事業内容	パソコン購入			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	パソコン	160,000	8,000	160,000×6ヶ月/60ヶ月×1/2
		《合計》	160,000	8,000
按分割合 積算根拠	政務活動(50%)		耐用年数5年=60ヶ月のうち 購入(10月)から3月までの 6ヶ月分を充当	
	政務活動(50%) + その他活動(50%)			

- 注) 1. 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
2. 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
3. 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
4. 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	4-1
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】

J 0524012

領収書

2018年10月10日

河村 敏夫 様

領収金額 160,000円

(金額の頭部に¥をつけてください)

但し PT75FGSBJA3 パソコン代

消費税等 11,851円を含んでおります。

上記金額正に領収致しました。



エディオン周南本店
山口県周南市川崎3-17-8
TEL 0834-62-7111

発行店

株式会社エディオン



内訳入金種別	
現金・振込	
*クレジット	160,000
デビット・Edy等	
金券	
*ポイント	
その他()	

(*クレジット、ポイントは印紙不要です)

発行者印もしくは署名の無いもの又は金額訂正のものは無効です

領収日	伝票番号
2018年10月10日	00466-008-546783
年月日	- -
年月日	- -
年月日	- -
年月日	- -
年月日	- -



発行者



買付理由

県政費 No.63.64号発行 振込 封書不適合により
買付之也。

費目別支出内容一覧表

議員名 河村 敏史

費目	調査研究費・研修費・ <u>会議費</u> ・資料費 広報費・事務所費・ <u>事務費</u> ・人件費			整理番号	5
事業内容	7月27日印刷費				
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容	
	7月27日印刷費	24,300	24,300	トナー代	
		《合計》	24,300	24,300	
按分割合 積算根拠					

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
報告に関しては、支出の種類(例：ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満たさない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること

領収書等添付票

費目	事務費	整理番号	5-1
【領収書その他の書面の添付欄】			



2019年03月08日

領収証 様

No.302707461
発行店 周南本店
電話番号 0834-62-7111

金種	内訳
現金	0
クレジット	24,300
ギフト券等	0
ポイント	0
振込	0

金額 ¥24,300-

但し トー



株式会社 エディオン
(作成地)
大阪府大阪市北区中之島二丁目
3番33号



J 0524069

領収書

再発行



2019年 4月 15日

河村 敏夫 様

エディオン周南本店
山口県周南市川崎3-17-8
TEL 0834-62-7111

領収金額 百 24,300円

(金額の頭部に¥をつけてください)

但し 3/8購入分 インク代として

発行店



消費税等 円を含んでおります。

上記金額正に領収致しました。

内訳入金種別	
現金・振込	
*クレジット	24300
デビット・Edy等	
金券	
*ポイント	
その他 ()	

領収日	伝票番号
2019年3月8日	20466-302-707461
年 月 日	- - -
年 月 日	- - -
年 月 日	- - -
年 月 日	- - -
年 月 日	- - -

収入印紙



(*クレジット、ポイントは印紙不要です)

発行者印もしくは署名の無いもの又は金額訂正のものは無効です

こんにちは!

夢とロマンのある創造をめざして!

河村敏夫の山口県議会報告

発行日
平成30年7月吉日

No.62

●発行所および発行責任者/周南市川崎2丁目21番17号 河村敏夫

TEL 0834-63-2592 FAX 0834-64-1112 URL: <http://www.ccsnet.ne.jp/~toshi808/>

平成30年度 6月定例県議会が開催される

議会運営委員会が6月13日開かれ、6月20日から7月6日までの17日の日程で開催され予算議案1件、条例案件3件、事件議決3件、人事案件3件、報告案件18件、その他1件が上程され決定された。6月20日6月定例議会に開催され、新任参与員として、柴山警察本部長以下11名の紹介がありました。

今議会での重要案件はありませんが、明治150年プロジェクトの中核イベントである「山口ゆめ花博」が開幕まで3ヶ月を切り、大花壇等の会場整備も進み、最終段階に入ったこと。国が弾道ミサイル攻撃から我が国を常時持続的に防護するため、陸上配備型イージス・システム、イージス・アショアの配備候補地に萩市と阿武町の陸上自衛隊むつみ演習場が、秋田市と候補に選定されたことの報告があり、「新たな総合計画」となる。平成31年度予算編成及び政策決定等に関する国への提案・要望についての超重要要望事項20項目と重点要望26項目、国策関連要望47項目が発表されました。

これまでの「元気創出やまぐち! 未来開拓チャレンジプラン」に代わる県政運営の指針となり、山口県の発展の礎となる新たな総合計画を策定し、「3つの維新」の取り組みを戦略的に進めることとしている。これを着実に実行していくためには、国との連携・協力を一層強くすすめていくことが必要不可欠です。

平成31年度 予算編成及び政策決定等に関する

国への提案・要望

～「3つの維新」への挑戦(超重要) 要望～

(1) 「3つの維新」への挑戦要望(超重要点要望)

■産業維新

- 新 1 瀬戸内の産業力を活かした新しい産業イノベーションの推進について
- 新 2 「やまぐちSPACE HILL」構想(仮称)の推進について
- 新 3 地方発の「IoTビジネス創出プロジェクト」の推進について
- 新 4 「次世代型コンビナート」連携モデルの構築への支援について
- 5 コンビナートの国際競争強化に向けた港湾の整備について
- 6 産業力・観光力強化に向けた基盤整備について
- 7 水素利活用による産業振興と地域づくりについて
- 8 若者・女性に魅力ある雇用の場の創出について

■大交流維新

- 新 1 国内外からの誘客に向けた観光地域づくりの推進について
- 新 2 地方への人の流れの創出について
- 3 政府関係機関の地方移転の推進について
- 4 水産インフラ輸出構想の推進について
- 5 山陰道の建設促進について

■生活維新

- 新 1 明治150年を契機とした未来に向けた「人づくり」の推進について
- 2 働き方改革の推進について
- 3 結婚から子育てまでの支援施策の充実について
- 4 社会給がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進について
- 5 学校指導・運営体制の充実に向けた学校の働き方改革の推進について
- 6 防災・減災対策の推進について
- 7 持続可能な財政構造の確立に向けた地方財源の確保について

(2) 国策関連要望

- 1 岩国基地関連の安心・安全対策の推進と地域振興策の実施について

(3) 「3つの維新」への挑戦要望(重要点要望)

■産業維新

- 新 1 地域の産業政策と一体となった雇用創出の取組への支援について
- 2 担い手支援日本一の実現について
- 3 農業の成長産業化に向けた農地整備の促進について
- 4 畜産経営の体質強化に向けた支援について
- 5 林業・木材産業の成長産業化に向けた取組の強化について
- 6 水産業の活性化に向けた支援について
- 7 実効性のある鳥獣被害防止対策への支援について
- 8 水力発電の供給力の向上について

■大交流維新

- 1 県産農林水産物のブランド化の推進と販路拡大について
- 2 国の協力プランの基づくロシア・クラスノダール地方との新たな国際交流の推進について
- 3 公共交通機関の交通系ICカードの導入に対する支援について
- 4 地方への移住促進政策の加速について
- 5 特定有人国境離島地域に対する支援について
- 6 錦帯橋の世界文化遺産登録について

■生活維新

- 1 コンパクトなまちづくりの実現について
- 2 空き家の適正管理・利活用等の促進について
- 3 ニホンアワサンゴを活用したエコツーリズムの推進について
- 4 海洋ごみ対策の充実強化について
- 5 地球温暖化対策の推進について
- 6 山口県版「小さな拠点」(やまぐち元気生活圏)の形成について
- 7 大学等との連携による雇用創出と若者定着の推進について
- 8 外部専門家によるいじめ、不登校等の対策に係る体制強化について
- 9 高等専門学校における専門教育の充実について
- 10 地域の医療提供体制の充実について
- 11 地域の介護提供体制の充実について
- 新 12 健康寿命延伸に向けたビッグデータ活用の取組に対する支援について

★6月23日に周南管轄の出先機関（県民局・県税事務所・周南健康福祉センター・周南児童相談所・東部高等産業技術学校・周南農林事務所・周南土木建築事務所・周南港湾管理事務所・東部発電事務所・周南工業用水道事務所）から平成30年度の事業計画・取り組みについての事業説明会が開催されましたので、その報告をいたします。

なお、周南市における公共事業のみに割愛させていただきますが、周南土木建築事務所管内では今年度は下松、光地域で長年懸案であり事業進捗を待たれていた国道188号線の徳山・下松線の末武川架橋工事が4年目を経過するが進捗が遅いと苦情が寄せられていることから31年度にかけて集中工事を行うことより6億円、同じく光市における光・柳井線と川園線を結ぶ虹ヶ浜地域の用地交渉が纏まり工事に着手するため4億円と総額が増えたことが報告された。

周南土木建築事務所…旧徳山市管内

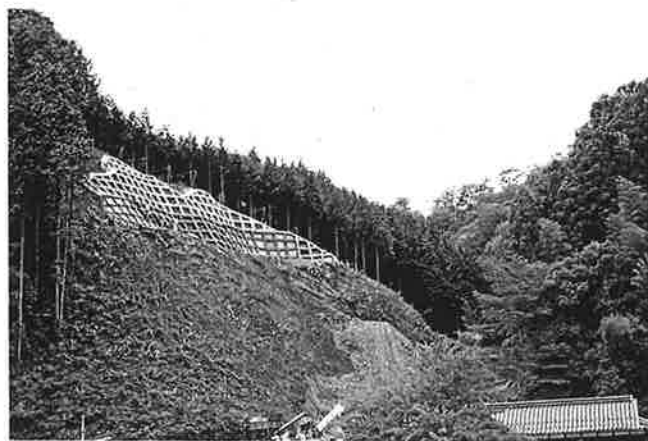
●瀬戸内海側の徳山から山陰側の須佐を結ぶ国道315号線の全線で、ただ一か所「交通難所と言われて久しい栄谷地区」の冬季の凍結による通行止めや老朽化した暗いトンネル内での漏水・凸凹路線で耐震化も必要で年間の補修も膨らむなどに加え、その上、急カーブと地形的な高低差などあり、交通面の安心・安全通行確保のためと、もうひとつは『活力ある元気生活圏』づくりの推進をめざす、鹿野・大向・大道理・長穂・須々万・中須・須金の北部集落地区で公共施設・病院・学校・銀行などが集積する須々万地区のコンパクトな街づくりをめざし、そして徳山市街地との交流を促進する交通ネットワークを整備する必要があることから、以前から要望していた区域です。県は2013年から毎年1千万円の調査費を計上しております。今年度も調査費として1千万円の予算が計上されております。

現在、「新栄谷トンネル建設推進協議会」を立ち上げ近々署名活動に入る予定です。

300万円/mとして、2キロで60億円となる。私には2.5キロと聞いている。2号線の戸田拡幅、三田川交差点の改良についても長く掛かった。粘り強く何度も何度もはじかれても諦めることなく早期での事業化に向けて、積極的に取り組んでもらいたい。

県も調査する以上この路線が危険区域であり、改良しなければならぬと考えていると思います。私が仕えた歴代の周南土木建築事務所長は必要であることを認めているのだから。

- 国道315号杉ヶ峰トンネル修繕工事を2,100万円で行う。
- 広島・安佐地区、岩国の豪雨災害により、従来の設計では対応できないことから、設計変更が行われ、着工が遅れておりました大向二俣地区の住民を災害から守るための大向川の災害防止法面築堤工事が4,200万円で引き続き施工します。
- 県道串戸田線湯野峠付近の付け替え道路として施工する和田・農免道路から新南陽側は施工済み箇所から柚木河内までの道路新設工事が進捗しています。用地買収を一部残しているが、引き続き4,200万円で今年度も盛土工事を行います。
- 用地買収が遅れていた県道串戸田線の湯野・名山地区の道



大道理二俣地区の砂防ダム設置工事中

路拡幅の盛り土工事を2,500万円で継続して着手します。

- 湯野の奥地県道山口徳山線の石砂谷地区のロックネット工事400万円かけて土砂取り除き工事をします。
- 県道山口・徳山線下河井～下大原のオーバーレイ工を80万円で行う。
- 県道新南陽津和野線の川上地区のロックネット工事を200万円で行う。
- 地元から要望の強かった新南陽津和野線と県道和田上村線の上村交差点改良工事が交差点付近の住宅団地造成が行われております。交差点付近の改良を併せて行いたく用地交渉がまとまり1,500万円で購入します。
- 長年かかっている県道和田上村線の井谷地区の道路拡幅工事のための設計を500万円で施工します。
- 新南陽津和野線川上ダム地区の曲線道路改良として盛土工事2,000万円を継続して行う。
- 新南陽津和野線の改良地区の延伸について



下上の拡幅予定地区

当面国道2号線から新幹線直下までとのことで用地買収も終えて工事も完了するが地元の要望も踏まえ、更に菊川小学校入口まで施工することとして道路設計に着手しています。通学路の確保と安心安全な歩道の設置が期待できる。当地区は当初都市計画事業として国道2号線から間上までの区域で計画されていたようだが余りにも計画時間を要することから、地元住民の協力をいただきながら交通安全対策事業で進めた方が早いし、住民の賛同も受けやすいとの判断で計画変更をして今日に至っております。地元住民の積極的な協力により工事の進捗も進み、今年度計画に計上した上村交差点改良へと繋がれば当初からの県道間上まで

の夢が叶うのではないか胸を躍らせている一人でもあります。一日も早い夢の実現に向けて頑張りますので皆様のご協力をお願いします。本年度は、新たに下上3区間として240M程北上菊川薬局付近までを4,200万円かけて用地測量・用地補償して進捗はかります。近々地元説明会を持ちますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

- 下上・内谷の急傾斜崩壊対策としての法面工事4,200万円で行う。
- 徳山・東金剛山地区で急傾斜崩壊対策事業として法面工事2,100万円で行う。
- 徳山・北山地区（県での事業名は水上南沢）の溪流に砂防ダムを築造するため継続して2,100万円を用地補償・工事用道路工事を行う。ここは、溪流の下流に人家と住吉中学校を含む区域をなっており崩壊対策事業として施工するもの。
- 地区住民が纏まって要望した徳山・風呂ヶ迫の市街地内で竹繁茂地域であり、また地形形状高低差があり、民家が連なり、急傾斜崩壊対策事業として申請し、採択され、一昨年度から測量・調査・設計を行っておりましたが、今年度から法面工事に1,000万円を工事着工しますが近々説明会を開くとのこと。
- 徳山・金峰・中原の急傾斜崩壊対策事業で1,500万円を測量・補償・擁壁工事を行います。
- 国道434号線水越地区用地補償と道路拡幅改良工事を8,400万円で行い、合わせて法面工事12,900万円で行う。
- 県道徳山徳線線の朴地区に待避所設置調査設計を500万円で行う。
- 県道徳山光線の阿田川地区の道路工事を引き続き施工するため2,100万円を測量設計を行う。
- 県道徳山本郷線長谷地区用地補償を使い400万円で行う。
- 下松新南陽線（中央通線）の施工について
用地買収に手間取ったが用地収容も含め用地買収が終わったので道路改良工事の進捗を計りたい。今年度は31,400万円を電柱共同溝と舗装工事の工事を進めたい。当地区は県道の渋滞により、市道浦山川崎線への車両侵入が多く地区住民から早く県道の完成により交通量の減少に向けて積極的に取り組んで欲しいとの要望が絶えず寄せられています。平行して市で下水管を埋設しますので工期の変動が予想されます。31年度には完成するよう工事進捗中。
- 国道434・315号線区画線更新・路面標示更新工事を500万円で行います。
- 下松新南陽線（久米地区）は用地補償、建物補償を6,200万円を進捗します。
- 下松新南陽線遠石を1,000万円・住崎町を500万円を街路樹剪定を行う。
- 柳ヶ浜／西光寺川護岸工事を24,100万円で行う。
- 高潮対策事業で大島地区の本浦海岸護岸工事8,400万円を計上。
- 大津島本浦堰堤工事5,100万円を築造本年度で完了。
- すくも島柳ヶ浜停車場線道路改良のため測量・用地補償を600万円で行う。
- 県道下松・新南陽線の青山町を1,000万円、徳山・新南陽線住崎町を2,000万円をオーバーレイエを行います。
- 東川の東一の井手護岸の根固工事と浚渫工事を400万円で行います。

- 夜市川・湯野で300万円かけて浚渫工事を行います。
- 夜市・的場川浚渫工事を200万円で行う。
- 富田川・徳善地区の護岸工事を1,500万円で行う。要望した区域は立派に完成しました。
- 富田川・徳善地区200万円を浚渫工事を行う。

周南土木建築事務所・旧新南陽管内

- 国道489号線の津浦ヶ峠トンネルの漏水があり地区住民からの苦情が多く、修繕工事800万円を修理します。
- 国道376号線の高瀬地区のオーバーレイエ1,000万円で行う。
- 同 米光ほか道路維持のための張りコンほか1,000万円で行う。
- 和田・大谷川の上流に堰堤工事を7,400万円を設置する。
- 県道串戸田線打木野の未改良地区工事を行うため調査設計工事を2,000万円で行います。
- 県道徳山新南陽線若山大橋の橋梁補修を引き続き8,400万円で行います。
- 県道徳山新南陽線古泉3丁目に300万円かけて集水柵を新設します。
- 県道下松新南陽線の福川3丁目地区のオーバーレイエ1,000万円で行います。
- 新南陽停車場土井地区の用地補償費として今年も12,000万円予算付けをしています。用地交渉の進展がみられず旧態と変わらないやり取りに終始しているようです。前進するための決断をする時期にきている。
- 富田温田地区の国道2号線以北の溪流に砂防ダムを設置し、南陽工業高校を含む地域住民の防災事業として用地買収費・工事用道路などの経費として2,100万円を計上。
- 夜市川の羽島の潮止堰補修工事を4,000万円で行います。
- 富田川音羽橋上流浚渫工事を300万円、神代川を200万円を浚渫を行います。
- 和田高瀬を500万円を浚渫工事を行います。

周南土木建築事務所・旧熊毛町管内

- 国道376号線下須野河内の張りブロック補修工事を100万円で行います。
- 管内橋梁補修点検補修を2,400万円で行う。
- 県道久杉高水停車場線樋口地域境界確認測量設計を今年度も1,000万円で行います。
- 県河川の護岸工事並びに浚渫について引き続き地元から強い要望があります。熊毛管内で最低1箇所は必ず施行することをお願いしております。
今年度は島田川・小松原を1,100万円、笠野川・大河内を700万円、勝間中村川・勝間を200万円、石光川・清尾を200万円を工事行われます。
- 県道徳山光線の奥関屋地区の水路工事に1,000万円を計上。
- 県道光玖珂線の小松原地区への水路・縁石工事に2,600万円を計上。
- 正蓮寺川・樋口地域のベンチ補修を100万円で行います。

周南土木建築事務所・旧鹿野管内

- 国道315号大潮地区の舗装・用地補償で1,500万円を計上。
- 同 細野地区の街路剪定で500万円を計上。
- 県道鹿野吉賀線の鹿野上地区の用地補償で500万円を計上。
- 大潮仏ヶ迫溪流の防護柵設置で100万円を計上。



鹿野大潮桶山地区の国道315号と拡幅済道路との道路整備箇所

- 県道山口鹿野大潮地区オーバーレイ工500万円で行います。
- 県道新南陽・津和野線倉谷地区のロックネット裏崩土撤去作業を100万円で行う。
- 錦川の鹿野中渋川地域の浚渫を200万円で行います。

向道ダム管理事務所から

- 平成15年からの継続事業として、向道ダム上流部の堆積土砂の取り除き事業も30年度も引き続き実施いたします。掘削土量は約3,500m² 予算額は2,900万円

周南港湾管理事務所

- 徳山下松港バルクターミナル国直轄事業総枠概算 330,000万円
- フェリーターミナル建替え整備事業 35,000万円
床面積約2,000、3階建て、港湾機能を集約した施設として整備する。
周南港湾事務所をポートビルに統合など。工期は本年度から建設工事に着手・31年度にはポートビルとして完成。周辺区域の整備はその後着手。
- 岸壁施設 晴海 -12m. 00 防弦材取替え 500万円
- 富田・古市港先 堤防補修工事 2,100万円
- 高潮対策徳山港 胸壁改良・護岸改良 4,000万円
- 同 給島 給島地区護岸消波 6,300万円
- 海岸施設老朽化徳山 江口 排水施設 2,200万円
- 同 栗屋 堤防補修 2,100万円
- 同 同 排水施設 800万円
- 同 平野沖 排水施設 2,600万円
- 港湾施設 晴海ガントリークレン修理改良 4,000万円
- 同 コンテナターミナル再編工事(土木電気設備) 1,000万円

※要望の強い新南陽港内の鉄工団地東地区の海域の浚渫作業については予算化されていないが施工するとの確約あり。

周南農林事務所…周南市管内のみ

(農業部は全県を対象)

- 新規農業就業者定着促進事業…新規就農者に対し支援する事業など
- 移住就農加速化事業…県外からの移住就農者確保のため
- 農業経営体育成事業…農業経営塾開催など

- 集落営農法人連合体育成事業…大規模経営の確立と所得の確保などへの支援
- 新規就業者受け入れ態勢整備事業…生産条件整備支援や住宅確保など
- 園芸・薬用作物生産転換促進事業
- 農林漁女子ステキ・農山漁村女性企業家育成事業
- 環境にやさしい安心・安全な農業推進事業

(農村整備部)

- 農業競争力強化基盤整備事業として三丘地区換地処分 1,800万円
- 農地耕作条件改善事業として八代地区へ浅層暗渠排水工事 2,500万円
- 農業競争力強化基盤整備事業として長穂地区へ区画整理(15.43ヘクタール) 9,000万円
- 農地耕作条件改善事業として長穂上溝中溝地区に農業用水路の改修をする 10,000万円
- 同じく長穂小原地区の農業用排水施設を整備するためパイプライン工事 2,000万円
- 中須北2期地すべり対策事業 3,000万円
- 農業用排水施設水路3路線整備事業 3,200万円
- 鹿野大潮官蔵地区浅層暗渠排水工事 1,100万円

(森林部)

- 県営林道開設事業をする。本年度完成 鹿野・高岳線 3,000万円
- 水源森林再生対策事業を鹿野・巢山地区整備する 16,800万円
大潮芋掘コンクリート谷止め工事2基、巢山地区同2基、湯野鴨長同1基

(畜産部)

- やまぐち養豚収益強化事業として、家畜飼養管理施設8棟・家畜排泄物処理施設一式 鹿野・山口東部畜産振興クラスター協議会へ 99,000万円

(水産部)

- 市営漁港魚場機能高度化保全事業…給大島漁港 10,000万円
近江・刈尾・本浦・天が浦・大津島漁港 900万円
- 県営漁港海岸保全施設整備…徳山漁港海岸 2,000万円

山口企業局周南工業用水道事務所

- 島田川工業用水道建設事業 142,000万円
光市中山ダムからの上水道水利権を工業用水に転用し、周南地区に日量14,100m³を供給する施設の建設を進めています。
- 徳山道水路改良工事・水官橋耐震補強工事など 62,700万円



河村敏夫の 向こう1年間の役職

- 県議会農林水産委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 山口県議会森林・林業活性化促進議員連盟会長
- 自由民主党山口県連合副会長

山口県議会に対する問い合わせなど御一報ください。 河村敏夫携帯 090-9060-8710 まで



河村敏夫の 夢とロマンのある創造をめざして!

山口県議会報告

発行日
平成31年1月吉日

No.63

●発行所および発行責任者／周南市川崎2丁目21番17号 河村敏夫
TEL 0834-63-2592 FAX 0834-64-1112 URL <http://www.ccsnet.ne.jp/~toshi808/>



明けましておめでとうございます



11月
定例県議会
から

全国都道府県議会会議長会から永年勤続功労者として 在職20年以上表彰を受ける。

11月定例県議会が11月28日から12月14日までの会期17日間で開催されました。

今議会で緊急テーマとして突然に発生した周防大島大橋の貨物船の衝突事故による緊急補正予算が提出され、当面、道路補修工事1千8百万円の専決処分と周防大島復興支援事業75百万円とし、大島送水管復興工事として2億5千万円の補正予算を組んだ。

次に「山口ゆめ花博」明治150年プロジェクトの中核イベントとして花博は好評のうちに136万人の来場者を得て52日の会期を終えたことに対するお礼のあいさつとやまぐち産業イノベーション戦略の推進についてやいじす・アショアへの取り組みなど報告があり、議案3件・工事契約など事件議決14件・公害審査会任命の人事案件1件ほかが上程され原案通り可決されました。

周防大島復興支援パッケージ今回の事故により影響の大きい観光業、 農林水産業等への支援を効果的かつ総合的に行う。

総事業費：152百万円

(県予算額97百万円、町負担額55百万円)

1 周防大島応援キャンペーン (情報発信)

30年度 40,000千円 (県10/10)

- 交流イベント開催支援
町観光協会認定イベントへの助成
- 観・農・商連携プロモーション
農水産物・特産品の販売促進、プレミアム宿泊券等のPR、
県内20か所、県外3か所
- 周防大島応援特別企画イベントの実施
観光PR、農水産物・特産品の販売促進、町開催イベントの
PR (広島駅)
- 周防大島復興支援パッケージのPR
テレビや新聞等を活用した広域的かつ短期集中的なPR
- 既存の情報ツールの活用
県政放送や県外パブリシティ、観光イベントガイドブック
等でのPR

2 観光産業への支援

30～31年度 110,180千円 (県1/2、町1/2)

- (1) 個人旅行者向けの需要喚起
 - プレミアム宿泊券の発行
割引率50%、発行枚数10,000枚
 - プレミアムフェリー乗船券の発行
割引率50%、発行枚数 車両750枚、人1,500枚
 - 割引クーポン券の発行
町内小売店舗・飲食店・観光施設・直売所等
発行枚数：20万枚 割引率：20%
(500円につき100円割引)
- (2) 団体旅行の需要喚起
 - 旅行会社の企画商品への助成
宿泊旅行3企画、日帰り旅行5企画

3 農林水産業への支援

再掲 40,000千円 30年度 2,100千円

- (1) 周防大島応援キャンペーン事業 (情報発信) ※再掲

○交流イベント開催支援

○観・農・商連携プロモーション

○周防大島応援特別企画イベントの実施

○周防大島復興支援パッケージのPR

- (2) 大島みかんの収穫・選別作業体制の確保に対する支援

○選果円滑化支援

観光みかん園等での余剰みかんの正果出荷への選果費用
補助

○大島みかん収穫サポーターの確保支援

収穫サポーター募集PRの実施

○県職員によるみかん農家への援農ボランティア

・収穫支援 6名×10チーム

・樹勢の維持・回復のための技術指導をあわせて実施

- (3) 農林漁業者に対する金融支援

○相談窓口の設置 (県・日本政策金融公庫山口支店)

○日本政策金融公庫の農林漁業セーフティネット資金の

「無利子化」…無利子枠4億円

- 4 商工業への支援 再掲 40,000千円

再掲 30～31年度 10,750千円

- (1) 周防大島応援キャンペーン事業 (情報発信) ※再掲

○交流イベント開催支援

○観・農・商連携プロモーション

○周防大島応援特別企画イベントの実施

○周防大島復興支援パッケージのPR

- (2) 店舗等への支援

○割引クーポン券の発行 ※再掲

- (3) 商工業者に対する金融支援

○相談窓口の設置 (県・県信用保証協会・関係商工団体)

○中小企業制度融資「周防大島復興緊急対策資金」の創設

…融資枠5億円

- 5 その他の生活支援

○健康相談窓口の設置 (町・柳井健康福祉センター)

○被害者相談会の開催支援

「農林業の知と技の拠点」形成基本計画案の概要が発表された。

山口県「農林業の知と技の拠点」形成基本計画（案）【概要版】

1 山口県の農林業及び農林総合技術センターの現状と課題

■山口県農林業の現状と課題

本県の農林業の担い手の減少・高齢化が進む中、県では「担い手支援日本一」を掲げ、担い手の確保や、法人経営体の育成に努めてきました。今後も担い手支援を継続し、就業先で即戦力となる人材育成が必要です。

また、農林業の労働生産性は他産業に比べて低く、若者が農林業を職業として選択する上でのマイナス要因となっているという見方もあり、生産性の向上は喫緊の課題です。

■社会情勢の変化

近年、TPP等の国際貿易自由化の活性化や、国による米の生産調整の廃止など、自内外の産地間競争の激化が見込まれており、農林業の競争力強化が急務となっています。

一方、IoTやAI、ドローン等、急速に進化する先端技術を農林業分野にも的確かつ迅速に導入し、活用することが求められています。

■推進機関としての農林総合技術センター

本県農林業振興の推進機関である農林総合技術センターは、農林業の成長産業化に向けて、社会情勢の変化を踏まえ、先端技術等の開発・導入や、それらを駆使できる人材の育成に一層力をいれていくため、機能強化を図る必要があります。

◇担い手の減少・高齢化や産地間競争の激化
◇急速に進化する先端技術は農林業分野にも進展
⇒これらの状況に迅速かつ的確に対応し、競争力強化が必要

先端技術の開発と、高度な技術を持つ即戦力人材の育成に一体的に取り組むことが必要

農業大学校や農業試験場等を統合した「農林業の知と技の拠点」を形成

2 「農林業の知と技の拠点」の形成

■拠点への統合対象施設

農業・林業の振興に向けた機能強化の観点や、各施設の近隣産地との関係、立地環境、業務の特殊性等を考慮の上、統合対象は以下の3施設とします。

- 農業試験場（山口市内水内上、大内長野）
- 農業大学校（防府市牟礼）
- 林業指導センター（山口市宮野上）

■統合の場所

- ・道路や鉄道等、県央の交通の要衝に位置し、県民の利便性が高い
- ・瀬戸内産業集積地域と近接し、研究面における企業との連携が深まることが期待できる
- ・山林を有し、林業研修施設の設置が可能
- ・農業大学校本館や、移住就業促進センターなど、既存施設の有効活用が可能

研究用ほ場の確保等の課題はありますが、農業試験場の誘致を要望している防府市と協力しながら解決を図ることとし、総合的な判断として、拠点は防府市の農業大学校敷地を中心に形成することとします。

■拠点の整備計画

変動の激しい社会情勢にスピード感をもって対応するため、新拠点は2022年4月からの供用開始を目指して整備します。

■整備年次計画

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	基本・実施設計			
	土木工事			
		付帯施設整備		
			研修工事	
				供用開始(予定)

■整備事業費

拠点整備関連の総事業費は約45～50億円と見込まれます。
※2018年11月時点の試算
※移転する施設の解体撤去費等は別途検討
なお、効率的かつ効果的な予算執行により、経費削減に努めます。



■拠点整備の内容

- 拠点機能を発揮するため、以下の施設等を新たに整備します。
 - ・『新本館』：研究部門と教育部門が一体となった知と技の拠点
 - ・『連携・交流館』：県民に開かれた農産加工施設（オープンラボ）などを設置する連携・交流の拠点

総合調整機能を強化し、農林業の様々な相談や、企業・大学・県民等との連携に対応します。

3 拠点における新たな取組

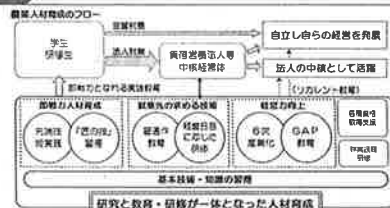
■オープンイノベーションと研究・教育の一体化による新技術開発の活性化

- ◆県内外の企業や大学などと積極的に連携し、オープンイノベーションを推進
- ◆研究成果をいち早く実証するなど、研究と教育の一体化による開発の活性化
- 本県の特性に応じた先端技術を活用した省力化・低コスト技術の開発
 - ・スマート農機やIoT等を活用した、大規模経営向け「超省力技術」の実用化
 - ・イチゴやトマトの収量や品質を飛躍的に向上させる「環境制御システム」の開発・実用化
 - ・ベテラン農家の技術を実践できる「農の匠の技」のシステム化
 - ・ICT等先端技術を活用した有害鳥獣捕獲・防護技術の開発実証
 - ・高性能林業機械やICT等先端技術の導入による効率的な林業経営技術の開発
- 高付加価値品種等、所得向上につながる技術の開発
 - ・需要に対応した、味や品質に優れた高付加価値品種の開発普及
 - ・成長の早い樹種の導入による低コスト再造林技術の確立

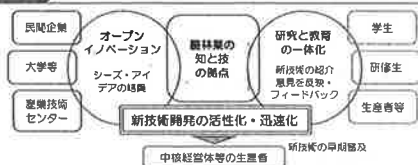
■教育の高度化による創造力と実践力豊かな人材の育成

- ◆研究機関と教育・連携機関の統合によるメリットを生かした、スマート農機等の先端技術教育や、経営力向上に向けた実践学習など教育・研修の充実
- 先端技術を実践する即戦力人材の育成
 - ・スマート農機やICTシステムなど、先端技術を経営に生かせる人材の育成
 - ・先端技術の研究者が、技術導入にあたっての考え方を直接教示
- 経営感覚に優れた人材の育成
 - ・6次産業化やGAP（生産工程管理）教育など、収益向上や経営高度化に向けた教育の充実
- 現場のニーズに応じたスキルを持つ多様な人材の供給
 - ・雇用の求める技術の研修や、農業・林業双方の技能研修など、多様な人材育成に対応

期待される効果 創造力と実践力豊かな人材を育成し、農林業経営発展を支援！



期待される効果 所得の飛躍的向上や更なる規模拡大、集落の活性化を実現！



■大学・企業・生産者・県民等との新しい連携・交流

- ◆民間企業や大学、関係団体、生産者、消費者等との多様な連携や交流を積極的に推進
- ◆総合調整機能を強化し、県民にとって開かれた「農林業の知と技の拠点」に
- 農林業の総合相談・情報発信機能の設置
 - ・企業や大学との共同研究や実証、普及などをコーディネート
 - ・市町等と連携し、農業～教育・研修～就業～定住～リカレント教育まで、一貫サポート
 - ・やまぐち6次産業化・農工商連携サポートセンターと連携した6次産業化等の支援
 - ・研究成果や教育成果、求人情報など情報発信の強化
- 産学公連携の更なる推進
 - ・企業、大学、JA、市町等との連携を促進し、研究・研修両面の機能を充実
- 生産者、消費者等との連携・交流の場の創設
 - ・県内市町との連携による農林業イベント等を通じ、県民との交流を深め農林業への理解を促進
 - ・新商品開発に向けた試作等が実施できる「オープンラボ」を設置し、6次産業化等を活性化

期待される効果 連携・交流の促進により拠点の魅力を高め、更に機能強化！

「農林業の知と技の拠点」が、その機能を発揮することで、生産者の所得向上を実現し、若者が魅力を感じる農林業を展開することにより、農林業に雇用と活力を創出します。

本県農業・林業の成長産業化の実現

森林経営管理法による私有林の管理権

制度の開始が平成31年4月から始まる森林経営管理制度は、所有者自らが経営管理できない森林について市町が経営管理権を設定し、意欲と能力のある林業経営者への集積を図る制度で、下記のような構成になる。

■森林整備に関する基本的考え方

私有林かつ人工林面積（森林経営管理法に基づく経営管理権の集積が想定される森林）約11万ヘクタール



平成31年度予算編成及び政策決定等に関する国への提案・要望の実施について

●要望項目●

(1) やまぐち維新プラン推進要望（超重点）

■産業維新

- 新 1 自動車新時代に対応したオープン・イノベーションの促進について
- 新 2 健康寿命延伸に向けた認知症予防や関連ヘルスケア産業の創出・育成について
- 新 3 先端的技術を活用した新たな産業イノベーションの推進について
- 新 4 地域におけるキャッシュレス化の推進について
- 5 やまぐちSPACE HILL構想の推進について
- 6 地方発の「IoTビジネス創出プロジェクト」の推進について
- 7 「次世代型コンビナート」連携モデルの構築への支援について
- 8 コンビナートの国際競争力強化に向けた港湾の整備について
- 9 産業力の強化や交流の拡大に向けた基盤整備について
- 10 水素利活用による産業振興と地域づくりについて

■大交流維新

- 1 国内外からの誘客に向けた観光地域づくりの推進について

- 2 地方への人の流れの創出について
- 3 政府関係機関の地方移転の推進について
- 4 水産インフラ輸出構想の推進について
- 5 山陰道の建設促進について

■生活維新

- 1 次世代を担う子どもたちの支援政策の充実について
- 2 多様な人材の活躍に向けた働き方改革の推進について
- 新 3 錦帯橋の世界文化遺産登録について
- 4 明治150年を契機とした未来に向けた「人づくり」の推進について
- 5 社会総がかりによる「地域教育力日本一」の取組の推進について
- 6 学校指導・運営体制の充実に向けた学校の働き方改革の推進について
- 7 防災・減災対策の推進について
- 8 持続可能な財政構造の確率に向けた地方税財源の確保について

(2) 国策関連要望

- 1 岩国基地関連の安心・安全対策の推進と地域振興策の実施について

◎周南土木事務所全管内 48億7千万円 うち周南市分は19億66百万円

うち災害項目別

・道路災害 21件 3億51百万円 ・河川災害 52件 7億33百万円

災害復旧測量設計 42百万円

・砂防…小成川第3川 樋口 人的被害箇所 2億26百万円

…太刀野川 原 徳山光線 2億63百万円

…大成川東川 樋口 国道2号線岩国市境 2億10百万円（新規砂防ダム整備 計7億円）

…3溪流 樋口ほか 新規緊急砂防計画 20百万円

・河川…河川伐採・浚渫 島田川ほか 55百万円 ・道路…維持管理委託料 46百万円

◎周南農林事務所 八代・岩神 緊急治山事業コンクリート谷止め工事 28百万円

**周南市30年
7月豪雨災害の
事業費が
出ました。**

**永年みなさま方にはお世話になりました。
下記のような経緯から、今期で議員を引退することと致しました。**

11月定例県議会の冒頭で全国都道府県議会議長会から20年以上永年勤続功労者として表彰を受けました。59歳の年に勤務していた東ソーを定年前に辞め、市議会議員も辞して、県議選2回目の選挙戦に挑んだのです。あれからもう20年になるのかと感無量な思いで表彰を受けました。思えば38歳の年で労働組合の専従執行委員でありながら、周囲の方々からの薦めで新南陽市議会議員に推挙されたのが始まりでした。市議会議員の選挙を4回戦い、任期途中で県議選に立候補した苦い経験もしましたが、合わせて40年を超えての議員生活になります。今回は以前から希望していた元気な時に議員生活を引退したいと私のわがままをお聞き願ひご理解いただくため、任期満了前ではございますがご報告を申し上げる次第です。

議員を引退するに至った経過は

1. 県会議員の中で最年長であること。
2. 平成の時代も終わり、新天皇が即位されること。
3. 市議会・県議会合わせて40年もの長きにわたり、ご支援いただいた有権者の皆様に元気である姿で感謝のお礼を申し上げたいとの一念からです。

○学歴・職歴

昭和33年3月 県立徳山商工高校卒業 昭和33年3月 東ソー株式会社勤務

○市議会・県議会議員履歴

昭和52年10月～昭和62年4月	新南陽市議会議員（総務・建設委員長）
昭和62年4月	県議会議員選挙で700票差で惜敗
平成元年10月～平成11年1月	新南陽市新南陽市議会議員（市議会議長・監査委員）
平成11年4月～平成15年4月	山口県議会議員1期目 土木建築委員
平成15年4月～平成19年4月	同2期目 文教警察・商工労働委員会副委員長
平成19年4月～平成23年4月	同3期目 農林水産・土木建築委員長
平成23年4月～平成27年4月	同4期目 環境福祉・農林水産委員会・監査委員
平成27年4月～平成31年4月	同5期目 土木建築・農林水産委員会委員 決算特別委員会委員長、議会改革検討協議会会長

○県議在籍中に私が関わった主な事業は次のとおりです。

- ・旧新南陽市埋立地N-6・N-7号廃棄物処理場と航路浚渫工事
- ・周南大橋の架橋
- ・国道2号線椿峠・湯野入口交差点を含む戸田拡幅工事と道の駅設置に伴う夜市川階段式護岸
- ・国道2号線の三田川交差点の改良工事
- ・須金地区の林道の付け替え工事
- ・ポートビルの建て替え事業
- ・国道489号の小畑地区の道路崩壊復旧事業
- ・県道新南陽・下松線の富田橋から浦山交差点までの4車線化拡幅工事
- ・新南陽駅前停車場線（県道新南陽津和野線）の土井地区拡幅工事と移転先水源地の土地区画整理事業と国道2号線以北の間上までの拡幅工事
- ・県道鹿野夜市線の才原地区の道路拡幅事業
- ・県道串・戸田線の柚木河内地区の道路改良工事
- ・高潮から福川地区を守るための、夜市川・中の川・温田漁港の高潮防潮堤設置工事
- ・工業用水の安定供給に向けて

山口県議会に対する問い合わせなど御一報ください。 河村敏夫携帯 090-9060-8710まで



河村敏夫の 夢とロマンのある創造をめざして! 山口県議会報告

発行日
平成31年3月吉日

No.64

●発行所および発行責任者／周南市川崎2丁目21番17号 河村敏夫
TEL 0834-63-2592 FAX 0834-64-1112 URL: <http://www.ccsnet.ne.jp/~toshi808/>

任期最後の31年2月県議会が開かれました

2月定例県議会が2月19日まら3月8日までの18日の日程で開催され、新年度の予算案6,854億2,700万円が上程されました。前年度に比べ124億円（1.8%）の増加です。

これは、昨年7月の西日本豪雨の復旧工事など防災対策の増加・19年度から始動する「やまぐち維新プラン」の具現化に着手することによるものです。

平成31年度の村岡知事の県政運営の基本方針

県政運営の基本方針

人口減少をはじめ、直面する多くの課題を克服し、活力に満ちた未来を切り拓いていくためには、これまで本県が培ってきた強みを活かし、潜在力を存分に引き出して、さらに伸ばしていかなければなりません。

このため、私は、本県の強みを最大限に活かし、活力の源となる産業力を伸ばす「産業維新」、潜在力を活かし、人やモノの流れを飛躍的に拡大して県を活性化させる「大交流維新」、誰もが希望を持って、いつまでも安心して暮らし続けられる基盤を築く「生活維新」の「3つの維新」に積極果敢に挑戦してまいります。

そのための政策の方向性を県民の皆様と共有し、共に進めていくための指針として策定した「やまぐち維新プラン」に基づき、本県の進むべき道をしっかりと見極め、プランに掲げる施策を本格的に推進していくこととしています。

明治150年の節目を迎えた昨年は、郷土の先人たちの精神に学び、未来に引き継ぐためのプロジェクト「やまぐち未来維新」を展開いたしました。中核イベントとして開催した「山口ゆめ花博」は、目標入場者数を大幅に上回り、本県の認知度の向上や県民の県づくりへの参加機運の高揚など、様々な成果を上げたところです。

これを継承し、これからの県づくりに繋がる施策の推進を図るため、私は、新たな基金を設置することとし、具体的な使途については、市町や関係団体等からも意見をいただき、決定していきたいと考えています。

一方で、本県を取り巻く環境は変化を続けています。企業の人手不足・後継者不在の状況の深刻化やIoT等の技術革新の急速な進展、訪日外国人の増加など、様々な動きが現れています。大規模な自然災害も頻発し、昨年7月豪雨では、本県も甚大な被害に見舞われました。

こうした状況に対しても、迅速かつ的確な現状を捉えた上で、実効的・機動的な施策の展開に努め、これからの新しい

時代における本県の活力の創出と持続的な成長、そして県民の皆様の安心・安全な生活の確保に向けて、しっかりと対応してまいります。

また、県づくりに当たっては、現在、国において進められている、幼児教育の無償化等の「人づくり革命」や「生産性革命」、東京一極集中の是正に向けた地方創生の取組の強化、「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」等の政策とも連携を図るとともに、今後も国の動向を注視し、適時適切に対応していく考えです。

私は、「3つの維新」を成り遂げ、「活力みなぎる山口県」を実現するため、自ら先頭に立ち、全力で取り組んでまいりますので、県議会をはじめ、県民の皆様の、より一層の御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成31年度当初予算

それでは、平成31年度の当初予算編成について、御説明申し上げます。

まず、我が国経済は、緩やかに回復しており、先行きについても、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続くことが期待されています。

一方で、通商問題の影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとされています。

こうした情勢の下、国においては、引き続き、「経済再生なくして財政健全化なし」を基本に、「人づくり革命」や「生産性革命」、少子高齢化への対応、一億総活躍社会の実現等に取り組むとともに、本年10月に予定される消費税率の引上げに当たり、需要変動を平準化するための十分な支援策を講じるなど、経済の回復基調が持続するよう、万全の対応を図るとされています。

また、財政健全化については、2025年度の国・地方を合わせた基礎的財政収支の黒字化等を目指し、「新経済・財政再生計画」に基づき、歳出改革等に着実に取り組むこととされ

ています。

こうした中、国の平成31年度一般会計予算案は、全世代型社会保障制度の確立等による少子高齢化への対応など、現下の重要課題に的確に対応しつつ、経済再生と財政健全化の両立を実現するものとして編成されました。その総額は、消費税率の引上げに伴う需要変動を平準化するための「臨時・特別の措置」を含め、前年度に比べ、3.8パーセント増の101兆4,571億円となっています。

次に、平成31年度の地方財政については、地方税が増収となる中、地方交付税総額は前年度を上回り、臨時財政対策債が前年度から大幅に抑制された結果、一般財源総額については、質の改善を図りながら、前年度を上回る額が確保されたところです。

また、幼児教育の無償化に係る財源の確保や、防災・減災等の緊急対策に必要な措置がなされるとともに、「まち・ひと・しごと創生事業費」について、前年度と同額の1兆円が確保されるなど、地方の重点課題に即した対策が講じられ、その結果、地方財政計画の規模は、前年度に比べ、3.1パーセント増の89兆5,930億円となっています。

このような国・地方を取り巻く諸情勢を背景に、予算編成に当たりましたが、県財政は、歳出が歳入水準を上回る構造から収支均衡した持続可能な財政構造への転換を図る行財政構造改革の途上にあり、依然として厳しい状況が続いています。

しかしながら、こうした中であっても、維新プランに基づく取組を基本的に展開し、「3つの維新」への挑戦を力強く進めることが必要であり、本県の強みや潜在力を活かした、本県だからこそできる施策を積極的に推進していかなければなりません。

こうした考えに立ち、来年度当初予算については、「やまぐち維新プランの具現化に向けた取組の推進」及び「持続可能な行政基盤の確立に向けた取組の着実な推進」を2つの柱として、編成を行ったところです。

それでは、最初に、「やまぐち維新プランの具現化に向けた取組の推進」について、御説明申し上げます。

「3つの維新」への挑戦に本格的に取り組み、確かな成果を上げていくため、本県の課題に対応した6つの重点項目に優先的な予算配分を行い、実効性の高い施策の構築に努めました。

「やまぐち維新プラン」の具現化に向けた取組の推進

「やまぐち維新プラン」に基づく「3つの維新」への挑戦に本格的に取り組み、確かな成果を上げていくため、少子高齢化・人口減少の進行等、厳しい環境にあっても、「活力みなぎる山口県」の実現に向けて、特に本県の課題に対応した項目に重要的・優先的な予算配分を行い、実効性の高い施策を構築しました。

「3つの維新」と本県の課題に対応した重点項目

産業維新 重点項目

① イノベーションの創出と中堅・中小企業の成長支援

産業力強化によるイノベーションの創出と本県経済を支える中堅・中小企業の成長を支援します。

イノベーションの創出による産業力の強化・成長産業の発展

新 オープンイノベーションの推進
～「今までにない」価値を生み出す～

新 県内医薬品産業の強化に向けた支援

新 IoT等新技術導入による生産性向上の推進
～官民連携で企業のIoT化をサポート～

新 健康長寿社会実現に向けた新たな産業の創出

中堅・中小企業の成長支援

新 「やまぐち・どこでもキャッシュレス！」実現の支援

新 多様な創業・円滑な事業承継に向けた環境整備

新 建設産業へのICT導入等促進

新 IoT等を活用した中小企業の実産性向上への支援

◆ 産業人材育成への支援

◆ 若者の県内定着の促進 ～キミに届け！やかくち企業～

新 外国人材の県内中小企業での受入支援

② 強い農林水産業の育成

担い手の減少等が進む中であっても、本県の強みを活かした農林水産業の育成に取り組めます。

新たな担い手の確保

新 首都圏からの新たな農林漁業就業希望者の確保
～首都圏から山口へ！移住就業者大幅アップの実現～

スマート農林漁業の推進

◆ 農林漁業でのICT等最先端・先進技術の活用
～夢を叶える農林漁業イノベーションの推進～

「農林業の知を技の拠点」の形成

新 農林業の知と技の拠点整備
～研究と教育の一体化で切り拓く新たな未来～

畜産業の振興

新 統一ブランドを核とした県産和牛の振興

新たな森林経営換地制度への対応

新 森林経営管理制度の円滑な運用

水産業の振興

新 本県独自の養殖業の振興

大交流維新 重点項目

③ 人とモノの流れの拡大

観光力の強化や国内外への新たな市場の開拓などを通じて大交流の実現を図ります。

選ばれた観光目的地やまぐちの実現

新 国内外から選ばれた観光目的地やまぐちの実現

～不思議なパワーで「新しい山口」の魅力発信～

- ◆ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進
～Welcomeオリンピック！YAMAGUCHIでお・も・て・な・し！～

交流を広げる基盤整備

- ◆ 山口宇部空港の国際交流拠点化
- 新 外国人の受入環境の整備
～認め合い、共に生きるYAMAGUCHI～

国内外での新たな市場開拓

- 新 首都圏等での県産品の売り込み強化
- 新 山口県版エクスポーター育成による海外競争力強化
～県産品満載！山口から世界へ！～
- ◆ 東アジア・アセアン地域等への戦略的な海外展開

やまぐちへの人の還流・移住の促進

- ◆ 「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議の体制強化
- 新 首都圏から県内への人の還流促進

生活維新 重点項目

④ 暮らしに満足できる生活環境づくり

県民の暮らしの満足度を高める生活環境づくりを進めます。

結婚、妊娠・出産、子育て応援

- ◆ やまぐち結婚応援センターの支援強化
～あなたの結婚を叶える「応縁」の充実～
- ◆ 周産期医療提供体制の充実
～かけがえのない新しい命を未来に繋ぐ～

- 新 病児保育利用予約のICT化
- 新 放課後児童クラブの長期休暇開設支援

困難を有する子供に対する支援

- 新 子どもの貧困問題への対応
- ◆ 児童虐待防止対策の強化

⑤ 新時代に繋げる人材の育成と活躍支援

新たな時代を見据えた人材の育成と県民が活躍できる環境づくりに取り組みます。

新時代を創造する人材育成

- ◆ 新たな時代を見据えた人づくり
- 「やまぐち型地域連携教育」の推進

- ◆ コミュニティ・スクールの取組充実
～みんなで創る地域の学校～

誰もがいきいきと輝く地域社会の実現

- 新 誰もが安心していきいきと暮らせる社会の実現
- ◆ 女性活躍のサポート強化
～みんなでサポート！女性の活躍～

きめ細かな教育の推進

- 新 高校教育の魅力向上への取組

豊かな心・健やかな体の育成

- ◆ いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応
- 新 学校における心の教育の充実
～心の専門家による「豊かな心」の育成～

⑥ 県民が安心・安全に暮らせる活力ある地域づくり

県民が安心・安全に暮らせる災害に強い県づくりや活力ある地域づくりを進めます。

災害に強い県づくりの推進

- ◆ 平成30年7月豪雨災害を教訓とした災害対策の実施
～災害時における「逃げ遅れゼロ」の実現～

- 新 倒壊の危険性が高いブロック塀の除去経費への補助

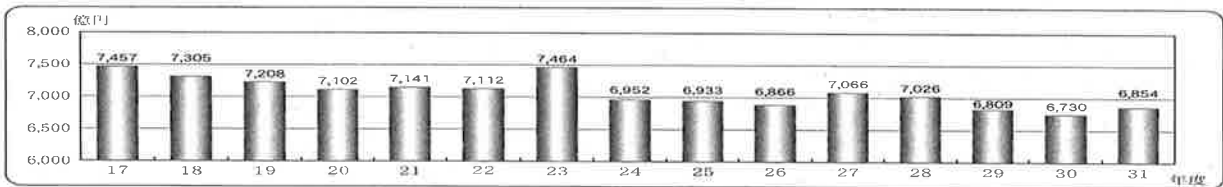
安心の医療・介護の充実、県民一斉健康づくり

- ◆ 若手医師確保対策の拡充
- 新 がん医療に伴うアピランス（外見）ケアの推進
～「自分らしく生きる」を応援～
- ◆ がん健診受診率の向上対策の強化
～大好きな人と一緒にがん予防～
- 新 救急安心センター（#7119）の開設
- 新 「やまぐち健幸アプリ」を活用した健康寿命延伸の取組

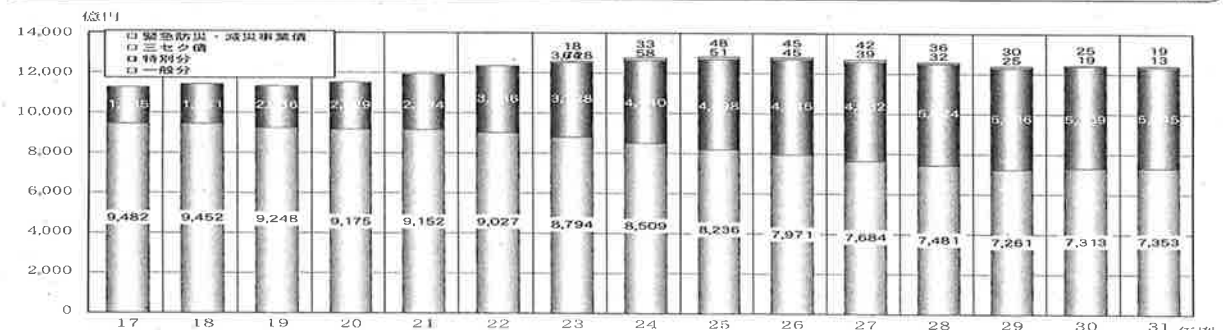
人口減少社会を生き抜く地域づくりの推進

- ◆ 中山間地域の活力の向上

（一）**予算規模**



（二）**県債残高の推移**



区分	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
県債残高	11,267 (245)	11,403 (136)	11,334 (69)	11,504 (170)	11,946 (242)	12,363 (417)	12,604 (241)	12,740 (136)	12,833 (93)	12,806 (▲27)	12,697 (▲109)	12,573 (▲124)	12,402 (▲171)	12,466 (64)	12,430 (▲36)
うち 特別分	1,785 (491)	1,951 (166)	2,036 (135)	2,329 (243)	2,794 (465)	3,336 (542)	3,728 (392)	4,140 (412)	4,498 (353)	4,745 (247)	4,932 (187)	5,024 (92)	5,086 (62)	5,109 (23)	5,045 (▲64)
うち 一般分	9,482 (▲246)	9,452 (▲30)	9,248 (▲204)	9,175 (▲73)	9,152 (▲23)	9,027 (▲125)	8,794 (▲233)	8,509 (▲285)	8,236 (▲273)	7,971 (▲265)	7,684 (▲287)	7,481 (▲203)	7,261 (▲220)	7,313 (52)	7,353 (40)

※H17末～29末は決算、30末は決算見込、31末は当初予算ベース。
※H19に、港湾整備特別会計を設置したことから、197億円の県債を一般会計から港湾整備事業特別会計に移行。

天皇陛下御在位三十年にかかわる賀詞

今年、天皇陛下が御退位され、皇位継承が行われる特別な年にあたって、天皇陛下におかれては、御在位三十年を迎えられたことから、山口県議会として県民を代表して祝意を表するため下記のような賀詞を贈呈する。

天皇陛下におかれましては、御在位三十年をお迎えになられましたことは、

山口県民ひとしく慶賀にらえないところであります。

ここに、山口県議会は山口県民を代表して慶祝の意を表し

あわせて天皇皇后両陛下の益々の御健勝と御皇室の御繁栄をお祈り申し上げます。

平成三十一年二月十九日

山口県議会

「感謝のつどい」のお礼

「清く、正しく、美しく」(公平・公正)をモットーにして市議20年、県議20年を勤めさせていただきましました。ありがとうございました。感謝です。

選挙戦が無風と信じて、去る1月25日(金)に、「感謝のつどい」を開催させていただきました。当日は大変お忙しいなか、高村正大代議士、もと同僚の大西倉雄長門市長や地元木村健一郎周南市長ほか国会議員秘書などの多数の方々に出席を頂き、慰労の挨拶を頂きました。

本来なら私の「県議会報告」を暑い日も寒い日もいとわず配布していただいた方を中心に慰労したいと当初計画したのですがご高齢・体調不良などで参加していただける方が少なく枠を広げて実施しました。

幸いのことに会は[わいわい・がやがや]昔の旧友が語り合っていただける場となりよかったとの評判を頂き感謝しております。

私自身を振り返る時議員在職中は口数も少なく楽しい議員でもなかったと自己反省しております。ただ、おごることなく「公正・公平」であることを願いながら対応して参りました。事業の推進にあたって、何度も足を運んで対応しても

らえないことなどありました。自らの対応のまずさを反省しながら、相手の立場に立って話を聞く姿勢が大事であることも勉強させてもらいました。しかしそうした苦勞も雄弁家はいとも簡単に自分の手柄のようにすり替える言動が第三者から聞こえてくることを何度か経験しました。この時の悔しさは計り知れないものがありました。そんなことを思い起こすと今更ながら「県議選への立候補を辞退してよかった」と思っております。

ところで、私の後継は誰にするのかとの話に、私の孫が『じいちゃんの後にはわたし彩芽が継ぎます』と言ってくれた会では、爆笑をかったようですが、その後、県議選・市長選いずれも大激戦となってきました。私は引退する身ではありますが、選挙戦になれば今まで手伝ってくれた方に恩返しをするのが人の道かと「坂本心次」を支持する決意をいたしました。



県議選と市長選への取り組みについて

○県議会議員選挙は市議4期を経験する「坂本心次」さんに応援します

応援する理由は

- ・周南コンビナートの活性化
- ・市街地と北部中山間地域を結ぶ県道新南陽日原線、県道串戸田線、国道315号線の新トンネル化への取り組み
- ・鹿野出身の地域性を生かし、北部の農業・林業の活性化への取り組みができる
- ・市議4期の経験を生かして今直ぐに使える
- ・信頼できる人柄で真面目・笑顔がいい・足軽い行動派

ところで、県議選への立候補を辞退した私のあとをうけてF議員までが市長選挙に鞍替えすることによって選挙戦がないだろうと予想していた私にはどんでん返しを食らった思いです。と申しますのも自民党徳山支部・新南陽支部・鹿野支部も10月中旬には現職推薦という役員会の決定に沿って推薦証を県連に出されていたからです。それをどんな事象があったにせよ支部長のみで他の役員さんに相談なく徳山支部が出した推薦状を自らが取り下げにゆかれたと聞き、徳山支部内部では問題化されているさ中、今度は自分から市長選に立候補するとなったから問題は複雑化してきた。

なぜ、個人で取り下げる前に、事前に経過を役員会に図り十分理解を求めたうえで再協議されなかったのか？

我々新南陽支部は現職推薦の申請を堅持しており、相談を持ち掛けられても徳山支部内部のことであり断るしかないのが今までの経過です。

こんな混乱から県議選には定数5人に対し7人が立候補され

○市長選は 現職 木村健一郎を支持応援します

応援する理由は

- ・非法な誹謗・中傷が続く中、ぶれることなく市制を執行している

木村健一郎さんにエールを送りたいと思います。

ることとなり一変激戦になりました。私も感謝のつどいの席上で「孫がじいちゃんの後には私が継ぎます」と言ってくれたことを受け止めて20年も先のことではなく当面どうするのか？

「お前が早くからやめるといふからこんなことになる」「あとはどうするんだ逃げるわけにはゆかないぞ」などいろいろお叱りを受けております。

何せ急な話で何もない中で思案の末、自民4人の当選を目指すにはどうすればよいか？現職と元職は早くから準備ができたと思うし応援の必要なし、2人のうちどちらにも頑張ってほしいが自分としては私の前回の選挙で少しでも応援してくれた方に恩返しをするのが人の道と考え、後援会の役員さんに相談し、鹿野出身の「坂本心次」と決めました。

彼は、現職周南市議会議員4期目途中であり棒に振ってまでと慰留したが一旦した決意は変わらず2月20日周南市議員辞職をし、選挙戦に備えたいと決意が表明されたことをご報告いたします。

地元県議会議員として平成11年4月に県議に当選以来 今日まで私が係わってきた主な事業は次のとおりです。

- 旧新南陽市埋立地 N-6・N-7 号廃棄物処理場と航路浚渫工事
廃棄物処理場は完成。-12m 航路浚渫、新南陽航路・泊地浚渫完成。
- 周南大橋の架橋
平成5年新南陽市議会議長時代に当時の佐藤運輸大臣への陳情、山口県知事選を絡ませて調査費をお願いし、平成9年着手から県議になっての平成17年完成。
- 国道2号線椿峠・湯野入口交差点を含む戸田拡幅工事と道の駅設置に伴う夜市川階段式護岸
国道拡幅は25年度完成。夜市川階段式護岸は平成24年度完成。道の駅落成式平成25年3月。
- 国道2号線の三田川交差点の改良工事
立体交差工事を国交省は計画していたが当面平面交差で試行することで工事完了。
- 新栄谷トンネルの新設
国道315号線の徳山栄谷地区の交通安全対策面と、中山間地域と市街地との交流強化のためトンネル隧道の新設工事。
現在、新栄谷トンネル建設推進協議会を立ち上げ建設に向けて機運を熟成する活動をしております。
- 長穂地区の圃場整備の促進について
現在着手中で完成後が楽しみです。
- 須金地区の林道の付け替え工事
広瀬ダム建設に伴う岩国市境界から周南市内を結ぶ林道新設工事。
- ポートビルの建て替え事業について
老朽化したポートビルの建て替えを議員当選以来訴えてきましたがやっと、平成30年10月本体建て替え工事契約して事業推進を図られることとなりました。
- 急傾斜地崩壊対策事業や砂防ダムへの取り組みとして風呂が迫・下上内谷・北山・大道理二俣ダム等々取り組み
- 国道489号の大神地区の交差点改良工事
平成24年度完成。
- 同上の小畑地区の道路崩壊復旧事業
集中豪雨のため突然崩壊し通行止めとなる。復旧まで旧道路を改良使用して、平成22～23年度に掛けて完成。
- 県道新南陽・下松線の富田橋から浦山交差点までの4車線化拡幅工事
当初工区を4つに分けて、工事施工・1工区は富田川から高橋内科まで、2工区は、同区域の上り車線・3工区は岸田板金から浦山・日産、4工区は、同区域の上り車線で1工区から順次施工中だったが電線地中化、市公共下水道事業など工事遅延し全線の完成は31年度予定。
- 新南陽駅前停車場線（県道新南陽津和野線）の土井地区拡幅工事と移転先として水源地の土地区画整理事業
道路拡幅のため土井地区の立ち退き代替地確保のため東ソー社宅用地の一部とその西側の田畑の地権者の理解を得て土地区画整理事業として立ち上げ区画整理して代替地として提供し事業促進を図った。現在は民間開発も入り、良好な、団地として発展している。
- 県道新南陽津和野線の土井地区交差点改良工事と国道2号線以北の間上までの拡幅工事
北村自動車を含む交差点改良は地権者の理解により平成25年度完成。土井地区に一部未移転地域があるが現在県以外の第三者機関に依頼して継続交渉中である。
2号線以北については交通安全対策事業として地元の理解をいただきながら今年度は内谷入口県道まで完成。残る以北路線は地権者の協力にかかっている。井谷入口交差点は完了している。
- 県道鹿野夜市線の才原地区の道路拡幅事業
長年掛かった地区道路の拡幅改良は地権者の理解をいただき全てが完成。なお、地権者が関連する城山野菜団地の区画整理事業も同意を貰い、長年の懸案事業はすべて完成した。
- 同上線の和田・打木野の拡幅工事、熊ヶ坂待避所設置
鹿野から夜市へ通う路線の熊ヶ坂峠の避難待避所は平成25年度完成この区間は市道に移管管理される。残るこの県道は木屋川地区の十朗川支流の改良工事を残しております。
- 県道巢山・秋字明線の道路改良拡幅工事
秋字明から巢山までの工事はすべて平成25年度完了。途中道路幅の構造を縮小提案して採用され、工期短縮。

- 県道串・戸田線の柚木河内地区の道路改良工工事
柚木河内の交差点付近道路改良は拡幅完了。名山地域の拡幅工事は一部残工事残している。和田地区の農免道路から柚木河内までの道路新設工事は平成 31 年度で完了する。
- 県道徳山・徳山線の鹿野金峰地区の道路拡幅工事
金峰地区の狭隘箇所への張り出し工事完了。そのほかは年 1 箇所改修工事施工することを約束。同路線全面のオーバーレーは平成 26 年 10 月完了。
- 県道徳山・新南陽線の新開橋の積載量過載改良工事
トラックの積載量 40 フィートのコンテナ車が通行可能にするための工事は平成 21 年度完成。
- 長田・津木線の築造と水道管の敷設工事
市道改良拡幅と同時に水道管を敷設する。平成 21 年度完成。
- 熊毛八代、河原畑川河川改良工事
上流ダムからの河川を継続拡幅している。箇所によっては道路の拡幅も要望。
- 熊毛安田地区急傾斜崩壊対策事業
急傾斜地崩壊対策事業は平成 25 年度完了。
- 熊毛地区の防災対策について
平成 30 年の豪雨災害を反省し、島田川をはじめ各河川の浚渫改良整備と森林に保全のための砂防ダムの設置を今後施工する。
- 高潮から福川地区を守るための、夜市川・中の川・温田漁港の高潮防潮堤設置工事
福川全域を高潮から守るため夜市川堤防嵩上げ、中の川の堤防改良、そして最後に温田漁港の堤防嵩上げと同時に排水ポンプ場設置。
- 工業用水の安定供給に向けて
旧新南陽市時代から結果的に港湾の浚渫、工業用水の確保が最優先されるべきと考え絶えず議会で主張してきました。山本知事の英断で一気に中山ダムからの引水が実現。現在光・下松から導水路敷設工事中です。
- 大道理地区芝桜植栽事業と地区整備事業
中山間地域の賑わい創造を考えて後押しをしてまいりました。
「夢求の里交流館」が完成し、県内の先進事例として県内外から注目されている。
- 竹の繁茂対策から森林税課税付加
県議になって初めての一般質問が竹繁茂対策だった。周辺の山から四季折々の季節感が失われてゆく姿から竹の伐採をしなければならないと考えておりました。幸いに他県でも実施されていた県民税を付加することで現在も継続中。
- 城山野菜団地の換地整理の終結事業
夜市特産品の「ゴボウ」などを生産する城山野菜団地が事業を終えているが、後整理が出来なく 20 数年見送られていたが地権者の同意を得て無事完結した。
- 道路草刈清掃作業をさらさらサポート事業として地元自治会補助へ

※県議に先立ち市議時代の主な取組みとしては、 地元川崎地区の環境改善事業を主体に

- 富田川の整備促進、特に富田川河川公園・音羽橋架け替え工事・市営川崎住宅東棟・川崎南都市公園建設事業は一体的に取り組めました。また、富田川を美しくする会の会長として、富田川の環境美化としてつつじの補植金魚ちょうちん、鯉のぼりの掲揚などに取組んだ。
- 福川南小学校の建設時期に合わせ、市内 1 校ごとの調理施設を学校給食センターとして集中改善することを提案し今日まで継続されている。
- 市内集会所建設の融資枠の拡大と敷地購入にも補助制度を創設
大神会館・宮ノ前会館・浜田集会所・川手集会所・道源開作会館など新設、とんとん会館は富田東校区のコミュニティセンターとして活用されている。
- 広く市内全域の農道を地区生活道路として利用活用しているところは簡易舗装化を実施する。
- 県下で一番高かったラスパイレス指数の是正に取り組んだが、職員の反感を受け失敗した。

平成30年度
自由民主党



山口県議会議員 河村 敏夫



ごあいさつ

平素は、格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成 30 年度山口県予算に反映した、私の県議会活動の成果をまとめた小冊子「くらしと県政」をお届け致します。

「くらしと県政」は、各市町・友好団体等より寄せられたご意見・ご要望を取りまとめ、また、地域代表としての私が日常活動を通じて得た皆様の声を、党県連部内会議で強く要望し、県の施策、予算に反映した成果を取りまとめたものであります。

今後とも、皆様のご意見・ご要望には全力をもって取り組み、ご期待に添うよう努力する決意であります。

引き続き、ご支援を頂きますようお願い申し上げます、ごあいさつと致します。

山口県議会議員 河村 敏夫

目 次

1 平成30年度予算の概要	1
2 平成30年度予算のポイント	
「明治150年」の開花と未来への継承	3
新たな「3つの維新」の始動	3
財政健全化に向けた行財政構造改革の確実な具現化	9
3 平成30年度予算の主な事業	
I 明治150年プロジェクト関連事業	10
II 「3つの維新」関連事業	
(1) 産業維新	11
(2) 大交流維新	19
(3) 生活維新	21
付録 平成30年度予算各種図表	35

1 平成30年度予算の概要

予算の規模 6,730億円 (前年度比△79億円 △1.2%)

当初予算編成の基本的な考え方

1 「明治150年」の開花と未来への継承

県民や市町をはじめ、県内のあらゆる主体と一体となって取り組む「山口ゆめ花博」の開催などを通じて県全体の活力を高め、明治150年を契機とするこれからの県づくりにつなげる。

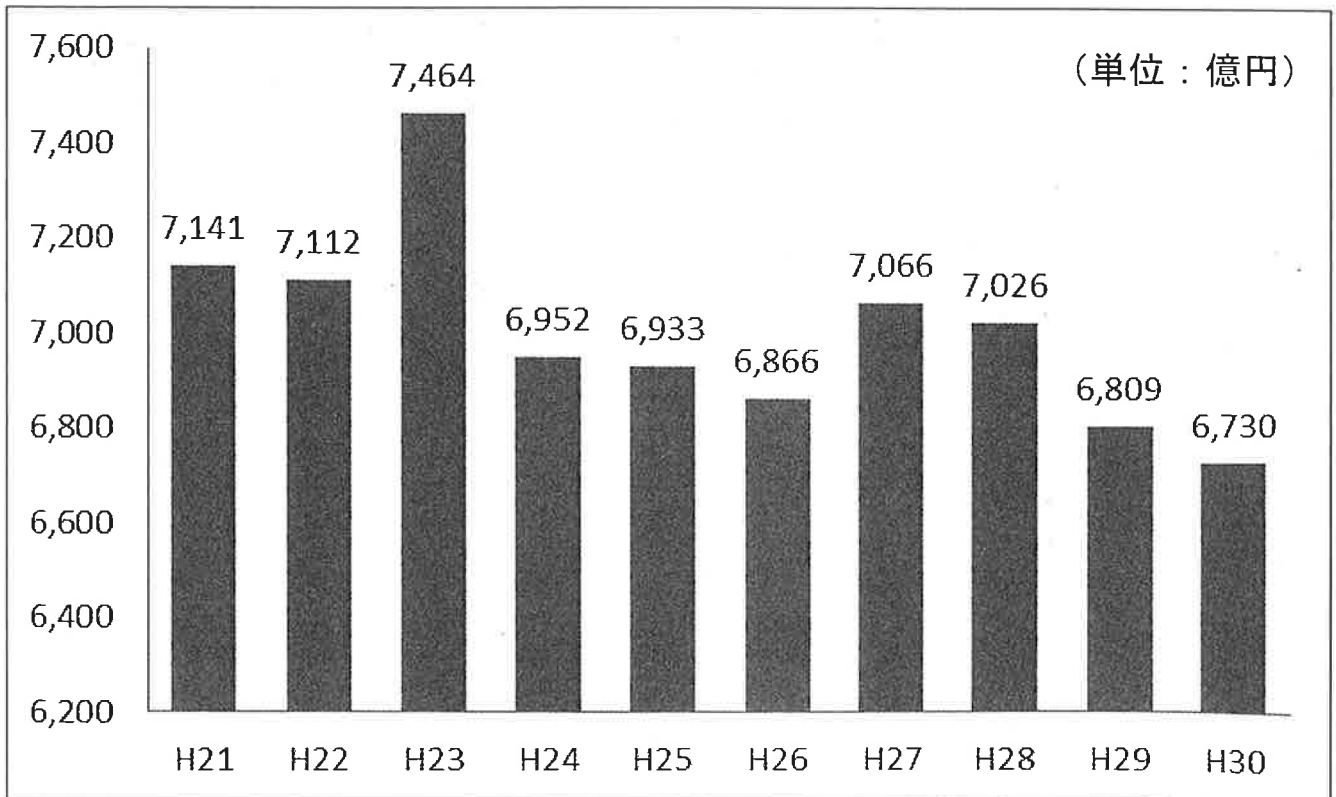
2 新たな「3つの維新」の始動

これまでの県づくりの成果の上に立ち、最重要課題である人口減少問題や地方創生の実現など、県政が直面する課題に立ち向かっていくため、山口県の未来を切り拓く「3つの維新」への挑戦に向けた、新たな施策を推進。

3 財政健全化に向けた行財政構造改革の確実な具現化

行財政改革統括本部で取りまとめた方向性に沿って、歳出構造改革や財源確保対策の取組を確実に具現化し、収支均衡した財政構造への転換に向けて一定の道筋をつけた。

◆予算規模の推移（一般会計予算）

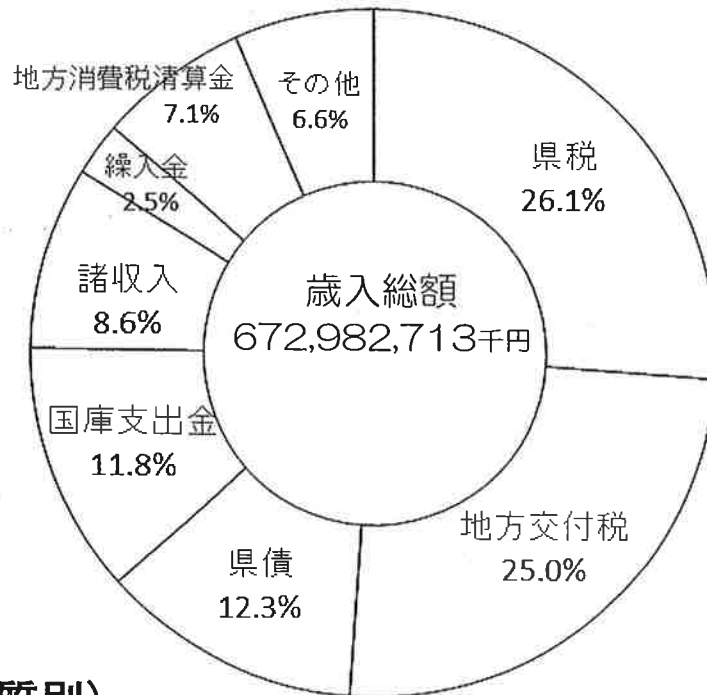


※当初予算ベース。H26は肉付け補正後予算。

歳入

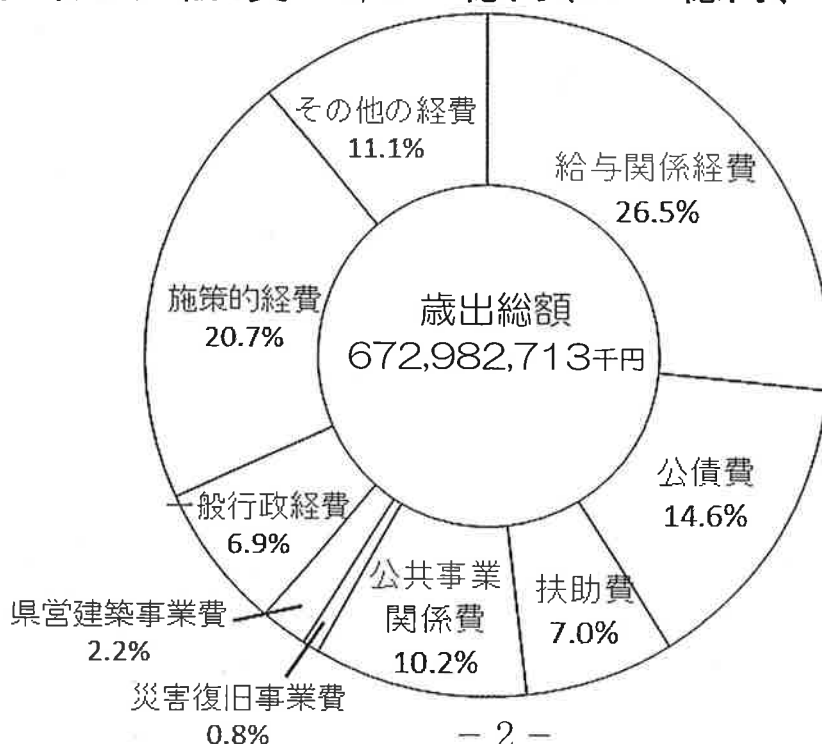
◇県	税	1,758億円(+7億円、+0.4%)
◇地方交付税		1,684億円(+7億円、+0.4%)
◇国庫支出金		792億円(△3億円、△0.3%)
◇県	債	826億円(△22億円、△2.6%)

※特別分(地方交付税振替等分) △4.3% 一般分 △1.5%



歳出 (性質別)

◇給与関係経費	1,782億円(△25億円、△1.4%)
◇公債費	986億円(△70億円、△6.6%)
◇公共事業関係費	684億円(△17億円、△2.4%)
◇施策的経費	1,397億円(△29億円、△2.0%)



2 平成30年度予算のポイント

■「明治150年」の開花と未来への継承

《明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」》

山口ゆめ花博

これまでにない感動と驚きを発見できるイベントにより、全国に向けて山口県の新しい魅力と活力を発信

[開催期間] 平成30年9月14日～11月4日

[会場] 山口きらら博記念公園（山口市）

- ・楽しみながら維新を体感できる「維新体験館」を会場内に設置
- ・明治150年記念式典・若者国際シンポジウム等の開催

幕末維新回廊

明治150年を契機に各地で開催される企画展を楽しみながら県内を「めぐる」全県的なイベントを展開

[開催期間] 平成30年5月～12月

[参加施設] 県内約30の博物館・資料館等

- ・パークロード周辺会場
- ・エリア別会場（中部、西部、北部、東部）

その他の取組

- 県民の意識啓発・機運醸成
- 未来を担う人材の育成
- 国内外に向けた情報発信・PR
- 歴史の保存・顕彰・継承



■新たな「3つの維新」の始動

I 産業維新

産業力の強化と成長分野でのイノベーションの創出

新 新たなバイオ関連産業の創出

- 産業イノベーションの加速

新 市町等が行う再エネ水素ステーション設置に対する補助

- 産業基盤の整備

中堅・中小企業の成長・安定・創業支援

新地域中堅・中核企業に対する支援の強化

- ・地域経済牽引企業を対象とした新規融資の創設

新中小企業の生産性向上・産業人材育成への支援

新若者就職支援センターの機能強化

新宇宙利用産業の創出

- ・県産業技術センターに新設する『宇宙データ利用推進センター』における、山口大学等と連携した宇宙データ活用の研究開発・事業化支援

新航空機・宇宙機器産業への本格参入

○県内就職・定着の促進

- 新春季インターンシップ(短期)の普及、フェスタの開催

○IoT等を活用した事業創出

- 新IoTビジネスプランナーによるハンズオン支援

- 新IoTを活用した新事業に対する新規融資の創設

○創業支援の強化

- 新創業総合ポータルサイトの構築、専門家の派遣

- 新店舗活用創業応援センターで行う空き店舗情報提供や全県的なマッチングシステムの構築

強い農林水産業の育成

○新規就農者の受け皿となる魅力ある産地の拡大

- 新市町が選定したブランド品目の産地計画に基づく生産体制強化や新規就業者用の住宅確保への支援

新国の米政策改革に対応した取組の強化

- ・米の事前契約拡大に向けた大規模流通試験・地域間連携の支援

○農山漁村での女性の活躍促進

- 拡女性農林漁業者向けの経営講座、販路開拓支援等

- 新農林漁業で活躍する女性のネットワーク構築

○農林水産業でのICT活用の促進

新 ロボットやICTなど先端技術を活用したスマート農業等
の実証研究

○酪農業の経営安定・生産基盤の強化

新 市場価格の影響を受けず乳用後継牛を安定的に確保する
全国初の『後継牛バンク』の構築

新 全国和牛能力共進会の成果（全国3位）を活かした取組

○中核的漁業経営体の育成

新 雇用型経営体による他種漁業との複合経営モデルの構築

Ⅱ 大交流維新

国内外との交流の拡大

○明治維新150年を契機とした観光需要の拡大(再掲)

拡 観光キャンペーン『やまぐち幕末ISHIN祭』の展開

拡 平成の薩長土肥連合と連携した広域観光プロジェクト

○山口宇部空港の国際交流拠点化

拡 国際路線の定着・拡大に向けた旅行商品造成支援や運航支
援、国内外需要喚起

拡 乗合タクシーの運行支援による二次交通対策の強化

○東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

拡 キャンプ地誘致やキャンプ国の県内周遊に向けた支援

新 山口ゆめ花博でのフラッグツアードーンイベント

○海外自治体等との国際交流の推進

新 スペイン・ナバラ州との周年記念行事や山口ゆめ花博での
『スペインの日』出展

新 ロシア・クラスノダール地方との経済・文化分野等での交流

国内外への売り込みの強化

新 地域商社と連携した首都圏等への売り込み強化

○ぶちうま！維新による大都市圏・海外に向けた販路開拓

新 高付加価値商品の販路開拓における地域商社との連携

○本県の強みを活かした水産インフラ輸出構想の推進

- **拡**ベトナムへの水産インフラ輸出を目指す県内企業の支援
- 中小企業の海外展開への支援
 - 新**やまぐち産業振興財団への海外コーディネーター配置
 - 新**海外認証等取得助成金の創設

やまぐちへの人の還流・移住の促新

- 「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議による取組強化
 - 新**移住希望者のニーズに対応した『YY！ターンカレッジ』等の開催
 - 拡**東京支援センター相談員の増員による相談体制の強化
 - 新**移住林業就業者に対する支援
 - ・大都市圏（東京・大阪）での就業相談会の開催から県内事業体視察や就業体験までの一体的な実施

Ⅲ 生活維新

(1) 希望を叶える暮らしづくり

結婚から子育てまでの切れ目のない支援

- 新**『やまぐち版ネウボラ』の推進
 - ・地域子育て支援拠点を活用し、母子保健相談が受けられる『まちかどネウボラ』として全県で展開
- 『学校内子育てひろば』の開設
 - 拡**家庭や子どもを持つことの楽しさを感じる中高生と乳幼児親子との交流の場の拡大
 - 新**病児保育の広域利用体制づくり
 - ・全市町参加の広域利用協定の締結推進

働き方改革の推進

- 企業サポート体制の強化
 - 新**企業に身近な民間アドバイザーの養成
 - 新**働き方改革取組支援助成金の創設
 - 新**学校における働き方改革の推進
 - ・県立高校への校務支援システム等の導入
 - 新**建設業における働き方改革の推進

快適な暮らしづくりの推進

新都市公園の新たな利活用によるにぎわいの創出

- ・山口ゆめ花博を社会実験の場として活用した、民間のノウハウ等を活かした新たな公園の利活用の展開

○再生可能エネルギーの導入促進

- 新太陽光発電の余剰電力買取期間の順次終了を踏まえた蓄電池導入助成制度の創設

(2) 人材の育成と活躍への支援

新時代を創造する子ども達の育成

○コミュニティ・スクールの取組推進

- 新地域連携教育エキスパート・アドバイザー・支援員の配置による学校や地域での取組の活性化

- 新『やまぐち子どもふるさとサミット』や『やまぐち地域連携教育推進フォーラム』の開催

○教育環境整備のための支援の充実

- 新学校業務支援員の配置（小学校・中学校）

- 新部活動指導員の配置（中学校・高校）

誰もが活躍できる地域社会の実現

新山口ゆめ花博を契機とした県民活動の活発化

- ・ゆめ花博の成果を今後につなげるパートナーシップ会議の開催等

○生涯スポーツの推進

- 新生涯スポーツ推進センターを設置し、市町やスポーツクラブ等が連携したスポーツの場づくりを支援

○女性活躍のサポート強化

- 新女性が働きやすい環境づくりに資する施設整備補助制度の創設

- 新新入社員・新婚夫婦等への『男女共同参画手帳』の配布

- 新『女性管理職アドバイザー制度』の創設に向けた取組

○障害者の社会参加促進

- 新障害者アート作品展や農福連携マルシェの開催

(3)安心・安全で活力ある地域づくり

防災・減災対策の強化

- 新 被災者生活再建支援システムの構築
 - ・罹災証明等の迅速化に向けた全県統一システムの整備
- 県民防災力の充実強化
 - 新 県民参加型シェイクアウト訓練の実施
- 災害危険箇所の事前調査
 - 新 流木発生危険度調査の実施
 - 新 水害リスク実態調査の実施

安心して暮らせる環境づくりの推進

- 若年消費者被害防止の強化
 - 新 若者目線の普及啓発活動、学生消費者リーダーの養成
- うそ電話詐欺被害防止対策の強化
 - 新 ボランティアによる高齢者宅訪問、コンビニ対策強化

保健・医療・介護の充実

- 若手医師確保対策の強化
 - 新 新専門医制度の開始を踏まえた県内研修病院への誘導
- 健康づくり対策の強化
 - 新 健康アプリによる健康づくりの『見える化・日常化』
- がん対策の強化
 - 新 肝がん・重度肝硬変医療費助成制度の創設
 - 新 協会けんぽと連携した被扶養者に対する受診勧奨

活力ある地域づくりの推進

- 中山間地域の活力の向上
 - 新 元気生活圏形成につなげるための周辺集落等への支援
(特別支援員の配置、地域づくりの取組への経費支援)
 - 新 交流拠点・産業振興など複数の地域づくり活動への支援
- コンパクトなまちづくりの推進
 - 新 立地適正化計画策定に資する広域連携ガイドライン作成

■財政健全化に向けた行財政構造改革の確実な具現化

行財政構造改革の方向性と対策

平成33年度（2021年度）までの改革期間を通じ、行財政構造改革の取組を実行することにより、多額の財源不足を解消し、収支均衡した持続可能な財政構造への転換を図る。

改革期間 H29年度(2017年度)～H33年度(2021年度) (5年間)

取組の柱 I 歳出構造改革 II 臨時的・集中的な財源確保対策

改革期間における財源不足の解消

◆改革期間の財源不足見込額 約1,292億円



◆行財政構造改革の効果額 約1,302億円

(内訳)

I 歳出構造改革 約881億円

II 臨時的・集中的な財源確保対策 約273億円

執行段階での節減等 約148億円

歳出構造改革 【効果額：約881億円(H30:169億円)】

○総人件費の縮減 233億円(H30：40億円)

・総定員削減(▲657人) ・給与水準の見直し等

○事務事業の見直し 63億円(H30：12億円)

・「全事業の見直し」(H29)

○公共投資等の適正化 44億円(H30：7億円)

○公債費の平準化 541億円(H30：110億円)

○公の施設の見直し(H30～)

臨時的・集中的な財源確保対策

【効果額：約273億円(H30:64億円)】

○保有基金の取崩し 90億円(H30：8億円)

○保有財産等の活用 52億円(H30：14億円)

○未利用財産等の売却・貸付 31億円(H30：17億円)

○県税収入等の確保 8億円(H30：2億円)

○その他の財源補てん 92億円(H30：23億円)

3 平成30年度予算の主な事業



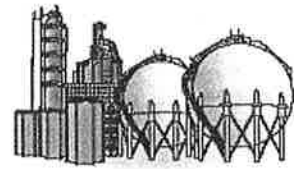
I 明治150年プロジェクト関連事業

山口ゆめ花博

新山口ゆめ花博開催事業	468,119千円
新山口ゆめ花博推進事業（広報宣伝の実施）	20,000千円
新山口ゆめ花博会場整備事業	80,000千円
○「山口ゆめ花博応援ふるさと納税」推進事業	400,000千円
新「幕末維新回廊」推進事業	128,741千円
明治150年を契機に各地で開催される企画展を楽しみながら県内を「めぐる」全県的なイベントを展開	
新明治150年記念未来へ繋ぐ人材育成事業	31,700千円
新明治150年記念事業	22,314千円
山口ゆめ花博会場で本県の明治150年記念式典等の催事を実施	
○明治150年情報発信事業	2,640千円
新維新やまぐち魅力発信事業	22,005千円
本県魅力情報の近県メディアへの売り込み等を実施	
新明治維新150年やまぐち幕末ISHIN祭推進事業	165,000千円
観光キャンペーン「やまぐち幕末ISHIN祭」の展開	
○やまぐち文化プログラム推進事業（明治150年関連分）	15,000千円
県立美術館にて大規模展覧会「明治150年記念特別展」を開催	
新全国産業教育フェア山口大会開催事業	24,264千円
[大会期間] 平成30年10月20日(土)～21日(日)	
[大会会場] 山口きらら博記念公園(山口ゆめ花博会場)ほか3会場	
○「平成の松下村塾」づくり推進事業	8,452千円

Ⅱ 「3つの維新」 関連事業

(1) 産業維新



① 産業力の強化と成長分野でのイノベーションの創出

新やまぐちバイオ関連産業創出支援事業 27,182千円
医療、環境・エネルギー分野の産業育成・集積を背景に、産学公金の連携によるバイオ関連産業の育成・集積を支援

○「水素先進県」実現促進事業 66,415千円

○水素関連技術支援拠点機能強化事業 33,000千円
県産業技術センターによる中堅・中小企業の水素利活用に対する技術支援

○水素サプライチェーン地域モデル検証事業 5,000千円
周南・下関地域で実施している水素サプライチェーン実証の、事業効果の検証や他地域への展開可能性の検討等を国委託により実施

○水素サプライチェーン技術開発支援事業 100,300千円
水素利活用に関する県内企業の技術力を集めた水素サプライチェーン(製造・供給設備等)に係る技術開発を支援

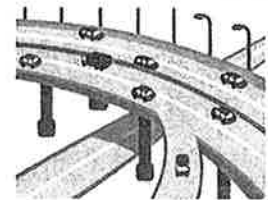
○次世代産業クラスター構想推進事業 41,800千円
次世代産業クラスター構想に基づく研究開発や事業化促進を目的とした体制整備

○産業戦略研究開発助成事業 48,863千円
医療関連、環境・エネルギー分野において、研究開発及び実証実験の取組を支援

○次世代産業育成・集積促進事業 5,543千円
医療関連、環境・エネルギー分野において、企業等の県内での設備投資・雇用創出などに繋がる戦略的な研究開発・事業化を支援

○次世代産業育成チャレンジアップ事業 80,607千円
医療関連、環境・エネルギー分野において、研究開発グループの取組について研究開発・事業化を支援

- やまぐち次世代ベンチャー創出支援事業 20,300千円
医療関連及び環境・エネルギー分野での革新的技術を活かした新事業に取り組む次世代ベンチャー企業の円滑な立ち上がりを支援
- 企業立地推進強化事業 41,769千円
市町や関係機関と連携した企業情報等の収集・分析・アプローチ、アフターケア等による優良企業の誘致を推進
- やまぐちIT・サテライトオフィス誘致推進事業 17,000千円
- 企業立地サポート事業 1,323,935千円
県内で工場を新設する事業者等に対し補助
- 高度産業人材確保事業 2,472千円
奨学金返還補助制度の要件緩和等を行い、高度な専門知識を有する産業人材の県内製造業での就業を促進
- 山口県産業人材確保基金積立金 30,483千円
将来の地域産業の担い手となる学生の県内就業の促進に向けた奨学金返還支援に必要な財源を確保するため、基金を積立
- 高速交通道路網調査費 9,967千円
地域高規格道路等の今後の整備方針等を検討するため、必要な調査を実施
- 山陰道整備促進事業 6,384千円
- 工業用水利活用設備設置支援事業（企業会計） 95,000千円
企業立地の促進や工業用水の需要開拓を図るため、工業用水の導入や拡大利用に伴う初期設備投資を支援
- 工業用水需要開拓強化事業（企業会計） 33,800千円
- 工業用水道事業（企業会計） 4,967,863千円
「島田川工業用水道建設事業」の着実な推進を図るほか、宇部・山陽小野田地区の供給体制の再構築、本格的な更新時期を迎える管路等の老朽化・耐震化対策を計画的・重点的に推進



○平瀬発電所建設事業（企業会計） 23,000千円
地域資源を活かした新たな電源開発となる平瀬発電所の建設を推進（最大出力：1,100kW、運転開始：平成36年4月）

○水力発電所リパワリング推進事業（企業会計） 26,000千円
低廉かつ安定供給に優れた「水力発電」の供給力向上を図るため、全国に先行し、既設水力発電所の設備更新に合わせたリパワリング（水車ランナ、発電機コイルの改造等による出力向上）を計画的に実施

②中堅・中小企業の成長・安定・創業支援

新地域中堅・中核企業支援事業 5,000千円
県経済を牽引する「地域中核企業」の創出・成長を支援するため、官民連携による総合的な支援体制を整備

○チャレンジやまぐち中小企業総合支援事業 374,371千円
産学公金の連携のもと、ものづくり企業やサービス産業など幅広い業種を対象に、新事業分野進出や海外を含めた積極的な事業展開の取組、優れた人材の確保・育成の取組を、一貫して総合的に支援

新航空機・宇宙機器産業参入促進事業 13,000千円
航空機産業分野での大型案件受注のため、一貫生産体制の確立とともに、宇宙機器産業への参入に向けたニーズ把握等の取組を支援

新産業人材創造事業 36,000千円
産業力の強化に向け、産業人材創造に係る支援体制を構築するとともに、人材創造・強化に係る研修等を実施

○中小企業活力向上促進事業 44,920千円
県内中小企業の事業化、販路拡大の取組促進等、やまぐち産業振興財団が実施するローカルイノベーションの実現に向けた取組を支援

新宇宙利用産業創出支援事業 415,487千円
「宇宙データ利用推進センター(仮称)」を設置し、県内企業の衛星データ利用に係る研究開発・事業化を支援

○産業技術センター運営費交付金 628,669千円
(第2期中期計画期間：平成26～30年度の5年間)

新やまぐちIoT導入促進事業 9,442千円
IoT技術を活用した新サービスの創出や新たな事業活動に取り組む事業者の支援

新創業チャレンジ総合支援事業 64,961千円
創業への関心段階から創業後のアフターフォローまできめ細かな一貫した支援を実施

○女性創業サポート事業 21,465千円
子育て期にあたる女性労働力率の低下の解消や、女性の活躍促進を図るため、女性向けの創業支援を実施

○九州・山口ベンチャーマーケット開催事業 1,066千円
九州・山口各県と経済界との連携により、中小企業と投資家等とのビジネスマッチングイベントを開催

○事業承継総合支援事業 12,430千円
後継者不在等の問題を抱える事業者に対して、事業承継の準備の意識づけから実行まで、円滑な事業承継に向けたきめ細かな支援を実施



○中小企業制度融資 [枠融資]670億円
県内中小企業の経営の安定・強化に資するための低利・長期資金の融資

○次代を担う産業人材育成推進事業 7,683千円
「山口マイスター」等の活用等により、次代の山口県産業を担う産業人材の育成を促進

○ものづくり産業技能向上対策事業 15,071千円
若年技能者から熟練技能者までの各段階に応じた技能向上や人材育成を支援するとともに、技能の継承にあたる指導者の育成や指導体制の強化を推進

○職業能力開発支援事業 578,636千円
離職者等を対象に、民間教育訓練機関等の機動性を活用した多様な職業訓練を行い、本県産業を担う人材の育成と早期就職を支援

○やまぐちインターンシップ等総合推進事業 23,196千円
県内外の大学生等を対象とした県内企業でのインターンシップ等を総合的に推進し、学生の県内定着を促進

■**県内就職・人材確保支援強化事業** 68,963千円
県内就職と人材確保の支援体制強化に向け、「若者就職支援センター」の支援対象にシニア、女性を追加する等の機能強化を図る

○やまぐち中小企業魅力情報発信！若者定着促進事業 6,580千円
大学等と連携し、県内企業の魅力情報を効果的に発信

○就職説明会等開催事業 18,133千円
県内中小企業と学生・一般求職者との就職説明会等の開催

③強い農林水産業の育成



■**新規就業者等産地拡大促進事業** 174,000千円
県内各地に広がる園芸産地における規模拡大への取組を支援し、魅力あふれる産地を形成するとともに、新規就業者の確保を推進

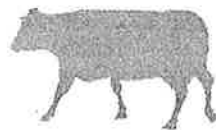
■**米の契約取引拡大支援事業** 9,000千円
中核経営体の連携生産及び複数年契約等による県産米の取引モデルを確立・普及し、安定した生産供給体制の構築を推進

■**園芸・薬用作物生産転換促進事業** 19,700千円
消費者の多様なニーズに応える高収益作物の生産流通体制を構築し、生産転換を促進することで農業者の所得向上を推進

■**JGAP取得加速化推進事業** 6,786千円
安心・安全な生産による「JGAP」認証取得を強化することにより、中核経営体の育成や販路拡大を推進

■**農林水産業イノベーション研究事業** 23,000千円
ロボットやICTを活用した先端技術による超省力化等の研究を実施し、作業負担の軽減や低コスト化を推進

新農林漁業女子ステキ・スタイル応援事業 20,437千円
女性農林漁業者のロールモデルとなる経営参画者を育成し、女性の活躍を促進



新次世代酪農基盤強化事業 7,561千円
全国初となる「後継牛バンク」の立ち上げ支援等により、市場価格が高騰している乳用後継牛の安定確保体制を構築

新やまぐち和牛おいしさ向上推進事業 49,584千円
第11回全国和牛能力共進会で全国3位に入賞した県育成種雄牛の更なる改良と肥育技術向上による「やまぐち和牛」の高品質化を推進

新地域を牽引する中核的漁業経営体育成推進事業 39,470千円
水産大学の持つ水産経営等に関する専門的知見も活用し、中核的漁業経営体による収益性の高い取組や、経営基盤強化を支援

新水産業強化支援事業 190,198千円
市町等が実施する水産資源増大に向けた施設整備を支援

○**学校給食県産食材利用拡大事業** 11,900千円
生産者団体・食品加工業者等と協働して、学校給食における県産農林水産物の利用拡大やくじら食文化の普及を推進

○**やまぐち6次産業化・農商工連携推進事業** 156,600千円
県産農林水産物を活かした魅力ある新商品開発や商品力向上支援

○**やまぐち県産木材利用拡大総合対策事業** 178,894千円
民間分野等における優良県産木材等を利用した住宅助成を行うとともに、公共建築物の木造化を支援し、木材の地産・地消を推進

○**新規農業就業者定着促進事業** 535,795千円
集落営農法人等を受け皿とした新規就業者の確保・育成に加え、就業後の定着促進に重点を置いた支援

○**農地中間管理機構事業** 159,676千円
農地中間管理機構を活用し、地域の分散した農地を借り受け、まとまりのある形で担い手への集積を促進

○中核経営体育成支援事業 168,000千円
集落営農法人等、地域の中心となり得る農業経営体の立ち上がりや経営力強化を支援し、本県農業の構造改革を推進

○指定産地等パワーアップ事業 450,000千円
産地パワーアップ計画に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援



○南津海シードレス早期産地化推進事業 1,000千円
南津海シードレスの早期産地化に向け、穂木採取用原木の管理を委託し、穂木の安定生産を促進

○集落営農法人連合体育成事業 80,000千円
集落営農法人連合体の設立を推進するとともに、大規模経営の確立と所得の確保に向けた取組を支援

○鳥獣害と戦う強い集落づくり事業 322,029千円
集落ぐるみの被害防止対策を推進

○野生鳥獣管理対策強化事業 45,734千円
野生鳥獣の捕獲の強化及び捕獲の担い手の確保・育成を実施

○農業農村地域活性化総合対策事業 2,481,977千円
農村地域の活力を創出するため、農地維持に必要な共同作業を支援

○中山間・棚田ふるさとの活力創出応援事業 16,000千円
中山間地域等の活力を創出するため、複数の集落が連携して人材の確保等に取り組む体制づくりを支援

○新規林業就業者定着促進事業 31,825千円
林業の担い手確保のための募集から研修、就業、定着までの一貫した支援 ◇定着支援給付金 120万円/年×3年

○新規漁業就業者定着促進事業 86,742千円
新規就業者を確保するため、募集から研修、就業、定着までの一貫した支援体制を構築

- 県産木材生産力強化対策事業 15,000千円
伐期を迎えたスギ・ヒノキ人工林における主伐の促進と民間素材生産事業体の経営基盤強化を一体的に実施
- 木材利用加速化事業 121,736千円
高性能林業機械の導入等を支援するとともに、地域の林業・木材産業関係者の連携強化を促進
- 少花粉スギ等優良種苗供給対策事業 8,991千円
少花粉スギ採種園を整備するとともに、松くい虫抵抗性マツ等の採種園を適正管理することにより、林業用苗木の供給体制を強化
- 森林整備加速化事業 300,000千円
間伐材の供給力の強化等に向けた路網整備、伐倒、搬出の支援
- 有用漁場開発推進事業 10,000千円
近年の漁海況の変動等に対応し、経営基盤の維持を図るため、現況に応じた漁場開発及び漁法開発を実施
- 漁業生産増大推進事業 46,346千円
藻場・干潟及び地先・沿岸沖合における生産力の増大に資する取組の実証・支援を行い、漁業生産力の強化・漁業所得の向上を促進
- 下関漁港生産力強化緊急対策事業 50,000千円
老朽化した沖合底びき網漁船の大規模改修（高度衛生化）を下関漁港整備と一体的に進める
- 水産共同研究推進事業 15,000千円
水産大学校に設置された共同研究拠点（山口連携室）を核として、産学公による水産共同研究を実施
- 儲かるやまぐち和牛の生産促進事業 25,352千円
「やまぐち和牛」の増頭及び高品質化等を推進
- 森林活力再生事業 316,825千円
荒廃森林の整備や繁茂竹林の伐採による森林の活力再生の推進
◇強度間伐の実施等 ◇繁茂竹林の伐採等

○地域が育む豊かな森林づくり推進事業 80,000千円
市町等が主体的に取り組む森林整備を支援
◇中山間地域対策 ◇地域課題対策

○下関漁港水産業振興拠点整備事業 687,233千円
下関漁港機能強化事業と一体的に水産業振興拠点施設等を整備
◇下関漁港ビル建設工事等



(2) 大交流維新

① 国内外との交流の拡大

新 “クルーズやまぐち” 地域活性化推進事業 8,412千円
クルーズ船の誘致に向けた戦略的なセールス活動の展開と合わせ、クルーズ旅客の満足度向上に向けた消費動向・観光ニーズ調査を実施

○岩国錦帯橋空港駐車場利用環境整備事業 27,000千円
駐車料金を無料化（5日間まで）するため維持管理費の一部を助成

新 交流拡大！山口宇部空港国際化推進事業 61,973千円
国際定期便の定着・拡大やチャーター便の拡大に向けた取組を推進

○岩国錦帯橋空港ターミナルビル機能強化事業 700,000千円
利便性向上・利用促進に向け、機能強化に係る整備費を助成

新 中南米山口県人子弟等人材育成事業 17,384千円
中南米山口県人子弟等の受入を実施

新 スペイン・ホストタウン推進事業 5,998千円
東京オリンピック・パラリンピックに向け、ホストタウン相手国であるスペインとの人的、経済的、文化的な交流を推進

新 ロシア・クラスノダール地方交流推進事業 9,307千円
相互理解・協力関係の発展強化に向け、協定に基づく取組を推進

○「サイクル県やまぐち」推進事業 52,800千円
サイクルスポーツ振興による交流人口の拡大を図るため、シンボルイベントの開催やサイクルスポーツ環境の整備、効果的な情報発信等を実施

新東京オリンピック等世界大会活用地域活性化推進事業

10,000千円

○やまぐち文化プログラム推進事業

19,190千円

東京オリンピック・パラリンピックに向け国が進める文化プログラムの全国展開に合わせ、県内文化の魅力を発信

○やまぐちDMO戦略推進事業

54,540千円

「やまぐちDMO」が戦略的に事業展開するための体制確立を支援

○魅力ある観光地域づくり推進事業

35,279千円

多様な主体の連携のもと、各地域で誇りや愛着を抱いている地域資源を活用した新たなツーリズムの創出や観光交流拠点の整備を支援

○観光プロモーション力強化事業

21,981千円

新たな発想や手法に基づく訴求力の高いプロモーションを展開

○観光交流県やまぐち推進事業

25,000千円

官民で構成する「おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会」において、魅力的な観光地域づくりや戦略的な情報発信等を実施

○外国人宿泊観光客数倍増事業

19,500千円

県内宿泊を含む旅行商品造成の拡大・定着化を図るための支援

○外国人観光客受入環境整備事業

25,537千円

受入環境整備の推進（無線LAN整備、案内表示等）

○やまぐちインバウンドパワーアップ事業

79,043千円

観光プロモーターを核として戦略的な誘致プロモーションを展開

○地域とともに歩む文化財資源総合保存活用推進事業

47,418千円

② 国内外への売り込みの強化



新山口発！水産インフラ輸出構想展開支援事業

9,000千円

県内企業がJICAなど国等の支援メニューを活用してベトナム・キエンザン省での事業展開を図る取組を支援

新やまぐち県産品売込強化事業 52,381千円
地域商社のビジネスモデル確立と将来的な自立に向けた取組支援

○外国人留学生等活用支援事業 9,817千円
外国人留学生の県内就業の促進、人材確保の支援

新グローバルビジネス総合支援事業 33,000千円
やまぐち産業振興財団を海外展開拠点とし、中小企業の海外展開の
基本方針の策定から実行段階までを総合的に支援

新ぶちうま！維新推進事業 64,000千円
地産・地消の着実な推進と大都市圏・海外等に向けた県産農林水産
物等の更なる需要拡大を推進

③ やまぐちへの人の還流・移住の促進



○住んでみいね！ぶちええ山口移住促進事業 52,000千円
市町や関係機関等との連携により、本県への移住実現に向けた一体
的な取組を推進

新移住林業就業加速化事業 3,500千円
県外の希望者に対し、相談会から就業体験までを一体的に実施

○移住就農加速化事業 11,400千円
相談会の開催から県内の産地視察や就農体験まで一体的に実施

(3) 生活維新

① 結婚から子育てまでの切れ目ない支援

○保育・幼児教育総合推進事業 5,495,023千円
子ども・子育て支援新制度に基づく施設型給付及び地域型保育給付

○地域子ども・子育て支援事業 1,469,616千円
市町が「子ども・子育て支援事業計画」により実施する事業の推進

○多子世帯応援保育料等軽減事業 337,196千円
年収約360万円以上の世帯について、第3子以降の保育料等を世帯
の所得額に応じて軽減

- 多子世帯応援保育料等軽減事業（幼稚園分） 42,755千円
- みんなで子育て応援推進事業 16,834千円
やまぐち子育て連盟を中心に、地域や企業、関係団体と連携した子育て県民運動の推進 ◇**新**イクメンミーティングの開催
- ぶち幸せおいでませ！結婚応援事業 68,194千円
やまぐち結婚応援センターを核とした出会いから成婚までの一貫した支援を推進 ◇**新**マッチング・サポートの実施
- 新** 未来を描く！学校内子育てひろば推進事業 2,600千円
中学校や高等学校内に「子育てひろば」を開設し、若者の結婚・子育てに対する前向きな気運を醸成
- やまぐち子ども・子育て応援ファンド事業 3,500千円
子育て支援や子どもの貧困対策等に取り組む団体の活動を支援
- シニアも応援！子育てサポーター事業 8,640千円
高齢者や子育て経験者等を「子育てサポーター」に登録し、保育所や地域の子育て支援活動における活用を促進
- 保育士確保総合対策事業 19,385千円
保育士確保を図るため、人材確保や待遇改善の取組を総合的に推進
- 保育所児童の健康支援体制強化事業 6,273千円
看護師等の配置を支援 [補助率]国3/4、県1/8、市町1/8
- 新**病児保育充実強化支援事業 23,364千円
病児保育の県内全市町参加による広域利用協定を進めるとともに、施設整備の支援や研修を実施
- 不妊治療・新生児検査支援事業 263,570千円
- 新**子育て世代包括支援センター機能強化事業 6,136千円
安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを推進するため、子育て世代包括支援センターの設置促進や地域における相談支援体制を強化 ◇身近な相談支援体制の構築（まちかどネウボラの整備）



○小児医療対策事業 163,542千円
県全域の小児救急医療体制を確保するための各種事業を実施

○周産期医療体制総合対策事業 127,814千円
周産期医療体制の充実強化

新子どもの虐待対策強化事業 64,980千円
児童虐待の発生予防から早期発見・早期対応、保護児童の社会的自立に至るまで、関係機関の連携による切れ目のない支援体制の構築

新家庭的養護推進事業 16,274千円
社会的養護を必要とする子どもが、家庭と同様の養育環境で養育されるよう、里親委託や養子縁組を推進

新子どもの居場所づくり推進事業 11,267千円
ひとり親家庭の子ども等に対して生活・学習支援や食事提供を行う「子どもの居場所づくり」に係る取組を支援

○ひとり親家庭等就業支援強化事業 10,812千円
ひとり親家庭等が安心して子育てと仕事を両立できる環境の整備

○福祉総合相談支援センター整備事業 211,545千円
県央部の福祉相談機関を統合し、総合的・一体的な相談支援体制を構築（山口市吉敷下東（旧消防学校跡地）、平成31年4月供用開始）

○三世代同居・近居推進事業 15,885千円
子育てしやすい環境づくりの一環として、三世代同居・近居を推進

② 働き方改革の推進

新やまぐち働き方改革サポート事業 29,440千円
やまぐち働き方改革支援センターを中心とした、企業に身近な相談支援体制の充実・強化

新やまぐち働き方改革実践モデル展開事業 18,990千円
長時間労働の縮減、ワーク・ライフ・バランスの推進などの「働き方改革」の実現に向け、モデル企業の取組の強化・拡大を支援

新建設産業活性化推進事業 7,676千円
産学公の連携により建設産業の「担い手の確保・育成」と「働き方改革」を一体的に推進

新学校における働き方改革環境整備事業 28,850千円
ICTの利用促進による業務の効率化・合理化及び勤務時間を意識した働き方の推進
◇県立高等学校等への統合型校務支援システムの導入
◇ICカードリーダーの導入

③ 快適な暮らしづくりの推進

新ふちエコやまぐち推進事業 572,846千円
省・創・蓄エネの取組を一体的に推進し、民生・運輸部門のCO₂排出削減を加速化

○大気汚染常時監視事業 101,524千円
県内の大気環境の状況を常時監視し、県民にリアルタイムで情報提供するとともに、PM_{2.5}の注意喚起等を実施

○資源循環型社会形成推進事業 144,642千円
循環型社会の形成を図るため、資源循環型産業の育成支援や3R県民運動を実施

○産業廃棄物適正処理推進事業 100,382千円

○海岸漂着物等地域対策推進事業 46,964千円
海洋ごみの回収・処理支援や幅広い県民を対象とした発生抑制対策等による一体的な取組を推進

○やまぐちの美しい海づくり推進事業 4,453千円
離島をフィールドとした海洋ごみの実態把握と発生抑制対策を実施

新人と動物の安心な暮らしづくり推進事業 2,936千円
遺棄防止に効果的なマイクロチップの普及促進や捕獲・譲渡体制を強化することにより、人と動物の安心な暮らしづくりを推進

○地方バス路線運行維持対策事業 540,677千円
路線の維持・確保のため、事業者及び市町に対し、運行経費を助成

○離島航路対策事業 389,305千円
県内離島の航路維持を図るための取組を支援

○**新**みんなの公園にぎわい創出事業 4,607千円
都市公園の新たな利活用を図るため、民間活力やボランティアによる継続的な活動に向けた体制づくりを支援

○空き家利活用等推進事業 4,105千円
相談体制の充実、適正管理・利活用の推進、市町の取組への支援

④ 新時代を創造する子どもたちの育成

○山口で学び、活躍する人材育成支援事業 4,550千円
「大学リーグやまぐち」等との連携・協働により県内大学生の県内就職を促進

○県立大学運営費交付金 1,057,916千円
運営費交付金の交付（〔第3期中期目標期間〕平成30～35年度）

○山口県立大学第二期整備事業 1,504,069千円

○私立幼稚園教員処遇改善促進事業 8,000千円
私立幼稚園が実施する、教員処遇改善に係る経費を補助

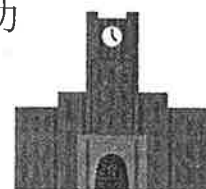
○子育て支援のための私立高校生授業 135,575千円
経済面で就学困難な生徒に授業料等の減免を行う学校法人に助成

○私立学校運営費補助 5,097,239千円
私立学校が実施する教育・研究に必要な経常的経費を補助

〔1人当たり単価〕・高等学校（全日制） 342,500円

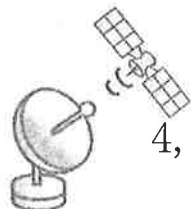
・幼稚園（法人立） 190,000円

○私立幼稚園預かりサポート推進事業 311,308千円
私立幼稚園が実施する預かり保育等に対し助成



新 JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業

JAXAが持つ教育資源を活用した教育の推進



4,134千円

新 学校業務支援員配置事業

24,573千円

教職員の業務を補助する学校支援人材を配置

◇学校業務支援員の配置 [配置数]小学校10人、中学校60人

新 地域教育力日本一推進事業

131,010千円

学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する「やまぐち型地域連携教育」の推進

○ やまぐちっ子学力向上推進事業

11,880千円

小・中学生の学力向上に向け、授業改善や自主学習を推進

○ やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業

57,147千円

高校生等の県内就職に向けた総合的な支援の実施

○ 高校コミュニティ・スクール推進事業

6,000千円

高校コミュニティ・スクールを拡充するとともに、地域の活性化や地域課題の解決に向けた拠点機能の一層の充実 (H30新規導入16校)

○ 特別支援学校コミュニティ・スクール充実事業

7,150千円

全ての県立特別支援学校にコミュニティ・スクールを導入

○ 高等学校における特別支援教育体制整備充実事業

31,125千円

県立高等学校における特別支援教育の充実を図るため、通級による指導」の制度導入に向けた取組を推進

新 特別支援学校における障害者スポーツ充実事業

3,000千円

特別支援学校におけるスポーツ活動の充実にに向けた取組を推進

○ やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業

6,798千円

県内大学等と連携・協働した高校生の県内進学促進の取組を実施

新 特別展「夢・未来・そして宇宙へ！ 宇宙兄弟展2018×

やまぐちと宇宙」(仮称)開催費(県立博物館)

21,850千円

○いじめ・不登校等対策強化事業 195,111千円
いじめの未然防止・早期対応・いじめ解消率100%を目指し、いじめや問題行動、不登校等の生徒指導上の諸課題への対策を強化

新やまぐち部活動応援事業 58,158千円
持続可能な学校の指導・運営体制の構築等に向け、顧問に代わって引率や指導を行う部活動指導員等の配置

⑤ 誰もが活躍できる地域社会の実現

新県民活動推進事業 6,000千円
「山口ゆめ花博」に繋がり拡大する県民活動の推進

○ソーシャルビジネス創出支援事業 12,600千円
ソーシャルビジネスの事業化への支援

新女性活躍サポート強化事業 8,826千円
女性自身や経営者に加え、家庭からのサポートに重点を置いた取組を進め、県全体で意識改革による女性活躍を推進

○シニア活躍！ねんりんパワー応援事業 26,438千円
ねんりんピック山口大会の成果を継承・発展させ、高齢者が活躍できる地域社会づくりを推進

○障害者いきいきサポート事業 39,264千円
障害者の積極的な社会参加と住み慣れた地域での自立を支援する様々なサービスの提供

○あいサポート運動推進事業 5,237千円
県民の障害に対する理解を深め障害のある人が必要な配慮を実践する「あいサポート運動」の取組推進

○障害者スポーツ県民参加推進事業 26,867千円
スポーツを通じた障害者の社会参加と県民理解促進

○やまぐちパラアスリート育成ファンド事業 3,500千円
障害者アスリートを県・企業・県民が一体となって支援するため、ファンドを活用し、選手の遠征費や強化費等を助成

新 障害者アート推進事業 障害者の芸術活動を支援	8,603千円
新 医療的ケア児支援体制整備事業 医療的ケアが必要な障害児の地域生活を支援する体制整備	2,034千円
新 農福連携マルシェ開催事業 農作業受託等に取り組む障害者就労施設に対する支援	6,000千円
○発達障害児地域支援体制強化事業 発達障害児支援機関の連携強化と専門性向上を通じた、発達障害児に対する地域支援体制の整備	6,000千円
○発達障害者支援センター運営事業 地域における発達障害者への総合的な支援体制を整備 ◇ 新 医療と福祉の連携を図るコーディネーターの配置	27,114千円
新 やまぐちの働く女性応援事業 女性の就業継続に向けた啓発や職場環境整備への支援を行い、若年層の女性の就業を促進 ◇女子トイレ、更衣室の整備への補助 等	24,000千円
○子育て女性等の活躍応援事業 子育て女性等の就職に向けた不安の解消や就業意欲の醸成等	61,385千円
○障害者雇用促進事業 事業主の理解及び関係機関の連携を促進するとともに、障害者の意欲と適性に応じた就労を支援し、障害者の雇用を促進	48,106千円
○若者が活躍する競技スポーツ推進事業 全国や世界で活躍する選手の育成を図るため、選手の発掘から育成強化、指導者の養成、スポーツ医科学の活用等を一体的に推進	222,000千円
新 スポーツを通じた地域活力の創出事業 県民が生涯にわたり、気軽にスポーツに親しめるよう、スポーツ交流・元気県づくりを推進 [事業主体] 市町 [補助率] 1/2	33,670千円

⑥ 防災・減災対策の強化



○私立学校耐震化促進事業

92,566千円

私立学校の耐震化を促進するため、校舎等の耐震補強・改築等に要する経費を助成

新 県民防災力発揮事業

4,000千円

大規模災害に備え、地域防災力の強化や災害対応力の推進を図り、防災体制を充実強化

新 被災者生活再建支援システム整備事業

147,060千円

熊本地震の教訓を踏まえ、大規模災害時における被災者の迅速な生活再建を実現するため、市町と連携して統一的な支援システムを導入

○消防防災ヘリコプター更新事業

166,193千円

新たにテレビ電送システムを備えた消防防災ヘリコプター「きらら」の機体更新

新 流木災害防止緊急対策事業

36,500千円

平成29年7月の九州北部豪雨災害を受けた国の流木被害対策強化に対応し、大径木人工林周辺の避難経路の少ない高齢化集落を通る溪流上流地区の危険度調査を実施

新 水害リスク実態調査事業

2,500千円

県管理河川における過去の被災履歴等を調査し、市町へ情報提供することで、各市町における河川の浸水実績等の把握と住民への水害リスク情報の周知を促進

○民間建築物耐震改修等推進事業

83,882千円

不特定多数の者が利用する建築物や防災拠点施設、緊急輸送道路沿道建築物、多数利用建築物及び木造住宅等の耐震診断・改修等に対する補助

○宅地耐震化推進事業

22,755千円

地震時に大規模な地すべりの変動が発生し、大きな被害が生じるおそれがある大規模盛土造成地の位置、場所、規模を調査し、マップを作成・公表

○応急危険度判定体制整備事業 628千円
災害時の被災宅地危険度判定及び被災建築物応急危険度判定体制の整備・強化を図るため、判定士等の養成講習等を充実

○災害時のすまい確保対策事業 1,101千円
災害時に応急仮設住宅等を迅速に提供するため、国事業と連携し、体制を整備

⑦ 保健・医療・介護の充実

新若手医師確保総合対策事業 276,201千円
県内医師の高齢化が進む中、平成30年度から開始される新専門医制度に対応した、若手医師確保策を重点的に推進

○医師就業環境整備総合対策事業 51,249千円
過酷な勤務状況にある病院勤務医等の就業環境の整備充実や、女性医師の出産・育児等を支援

○へき地医療総合対策事業 49,508千円
山村、離島等のへき地における持続可能な医療提供体制の構築
◇へき地医療拠点病院の運営費補助

○地域医療構想推進事業 6,920千円
地域医療構想の実現や、保健医療計画の推進のための医療圏ごとの協議会の運営

○医療機能分化連携推進事業 266,900千円
地域医療構想の実現に向け、地域医療構想調整会議において合意が得られた医療機関の施設・設備整備を支援

○看護師等修学資金貸与事業 95,872千円
県内の医療機関等に勤務する看護職員の確保を目的とした修学資金の貸与
[対象者] 県内勤務希望の看護学生等 [貸与月額] 1.5万円～3.6万円

○看護職員資質向上推進事業 41,296千円
看護職員の資質向上を図るため、新人看護職員研修への支援、専門性の高い看護師の育成支援等を実施

- 看護職員確保促進事業 20,466千円
看護職員の確保を図るため、中高生等への普及啓発や潜在看護職員の再就業支援等を実施
- 地域医療介護連携情報システム整備事業 456,307千円
在宅等における医療・介護サービスの一体的な提供を促進するため、「地域医療介護連携情報システム」の構築を支援
- 医療勤務環境改善支援事業 163,049千円
医療従事者の確保を図るため、医療機関における勤務環境改善に向けた取組を支援
- 救急休日夜間医療対策事業 100,733千円
地域における救急医療や災害医療の提供体制の強化に向けた取組を実施
- ドクターヘリ運航支援事業 259,009千円
広域的な救急医療体制を強化するため、救命救急患者の搬送や迅速な診療開始に重要な役割を果たすドクターヘリの運航を支援
- 新がん検診受診促進強化対策事業 26,343千円
がんの早期発見、早期治療のため、がん検診の受診率向上に向けた取組を実施
- 新肝がん・重度肝硬変治療特別促進事業 10,450千円
長期に渡る治療が必要な肝がん・重度肝硬変患者の医療費負担の軽減を図るとともに、臨床データを収集することで、肝がん・重度肝硬変の治療研究を促進
- 新やまぐちぶち元気っちゃ！事業 34,979千円
県民の健康寿命の延伸を図るため、健康づくりの「見える化」、「日常化」を推進するとともに、「ガバナンス強化」として、推進体制の強化を図ることにより、県民総参加の健康づくりの取組を推進
- 歯と口腔の健康づくり推進事業 4,741千円
「やまぐち歯・口腔の健康づくり推進計画」に基づき、生涯にわたる歯・口腔の健康づくりを総合的・計画的に推進

- 在宅歯科保健医療連携推進事業 20,294千円
在宅歯科保健医療体制の整備を図るため、関係機関の連携体制強化、専門的人材の確保・育成を実施
- 「地域で活躍する薬剤師」総合支援事業 15,483千円
在宅医療需要の増加に対応するため、在宅医療を担う薬剤師の活動を支援
- 地域包括ケアシステム推進強化事業 62,807千円
地域包括ケアシステムを支える人材の確保・育成や、サービスの円滑な提供に向けた取組を一層推進
- シニア活躍！地域支援担い手育成事業 8,384千円
老人クラブを中心とした高齢者を生活支援サービス等の担い手として育成
- 介護人材確保総合対策事業 65,155千円
介護人材確保に向けた魅力発信やイメージ向上等による新たな担い手の養成や定着率向上等の総合的な取組の実施
- 魅力ある福祉の職場づくり推進事業 11,609千円
社会福祉法人が協働して行う地域貢献事業や、適正な経営労務管理体制の構築等への支援
- 地域包括ケアシステム基盤整備事業 1,064,342千円
介護施設等の整備を計画的に推進(15箇所)
[広域型]特別養護老人ホーム等(2箇所)
[地域密着型等] // 等(13箇所)
- 認知症施策総合推進事業 16,856千円
認知症の理解促進、人材育成、広域的支援体制の整備等を推進
◇**新**認知症カフェ設置に向けた支援
◇若年性認知症の人の居場所づくり

⑧ 安心して暮らせる環境づくりの推進

- 高齢消費者被害防止対策強化事業 2,000千円
事業者や消費者団体等と連携した高齢消費者の被害防止
- 食品衛生検査充実強化事業 18,744千円
食品衛生検査の充実・強化を図り不適正食品を排除
- 消費者対策総合推進事業 52,587千円
消費生活における安心・安全の確保を図るための相談機能の充実・強化、消費者教育の推進
- 新 若年消費者被害防止対策強化事業 4,100千円
成年年齢の引き下げを見据え、消費者トラブルの増加が懸念される若年消費者に対し、若者の意見を取り入れた効果的な啓発活動を展開
- 交通事故抑止対策推進事業 767千円
子どもや高齢者等を悲惨な交通事故から守るため、交通事故防止対策など、総合的な交通安全対策を推進
- 性暴力被害者支援事業 6,280千円
やまぐち性暴力被害者支援システム「あさがお」による、被害直後の総合的な支援を実施
◇24時間365日運用の相談体制
◇相談支援員による電話・面接相談、病院等への同行支援 等
- 新 うそ電話詐欺未然防止推進事業 12,790千円
うそ電話詐欺（特殊詐欺）の被害防止を図るための取組を推進
◇被害防止訓練強化対策の推進 等
- 新 交通安全県やまぐち推進事業 6,648千円
高齢者に対する総合的な交通事故防止対策及び県民への正しい交通マナーの普及促進
- 山口警察署建設費 1,287,156千円
老朽・狭隘化が著しい山口警察署の移転建替整備
〔事業期間〕 H25～H31 〔H30事業〕 建物本体工事

○駐在所等改築費 235,579千円
老朽・狭隘化が著しい駐在所等の移転建替等整備
〔実施箇所〕岩国署麻里布交番・由宇交番、小串署阿川駐在所 等

○交通事故防止施設総合整備事業 956,990千円
高齢者の関与する事故の防止及び速度抑止に効果的な交通安全施設
の整備

◎ 活力ある地域づくりの推進

○やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業 15,000千円
やまぐち元気生活圏推進方針の着実な実施を支援
◇**新**中間支援組織設置の検討

新やまぐち元気生活圏活力創出事業 130,000千円
市町や地域団体が行う元気生活圏推進方針の着実な実施に必要な
取組をソフト・ハード両面から支援

新中山間地域振興特別対策事業 30,000千円
集落機能の低下が著しい地域の維持・活性化に急ぎ取り組み、将来
の元気生活圏形成に繋げていくための特別支援を実施
◇特別支援員の配置（4名） ◇地域づくり活動支援
〔補助対象〕 将来において元気生活圏形成を構成する周辺集落
等で集落機能維持の緊急性が高い地域
〔対象経費〕 地域の維持・保全に向けた活動経費
〔補助率〕 10/10（補助上限額 1,000千円）

新体感やまぐち地域滞在型交流促進事業 11,000千円
将来の移住・定住に繋がる、地域との関わりの深い滞在型交流を展
開するため、受け皿となる地域組織を育成

新コンパクトなまちづくり連携促進支援事業 5,830千円
市町による立地適正化計画の策定や都市間連携の視点からのコン
パクトなまちづくりを促進し、にぎわいのある、誰もが暮らしやすい
まちづくりを支援

付録 平成30年度予算各種図表

1 歳入の内訳

○ 性質別内訳

一般財源と特定財源

(単位: 百万円、%)

区 分		30 年 度		29 年 度		比 較	
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸率
一 般 財 源	県 税	175,779	26.1	175,051	25.7	728	0.4
	地 方 交 付 税	168,354	25.0	167,688	24.6	666	0.4
	県 債 (臨 時 財 政 対 策 債)	30,468	4.5	31,823	4.7	△ 1,355	△ 4.3
	そ の 他	87,507	13.0	92,839	13.6	△ 5,332	△ 5.7
	計	462,108	68.7	467,401	68.6	△ 5,293	△ 1.1
特 定 財 源	国 庫 支 出 金	78,758	11.7	78,795	11.6	△ 37	0.0
	諸 収 入	56,252	8.4	58,299	8.6	△ 2,047	△ 3.5
	県 債 (上 記 以 外)	52,168	7.8	52,976	7.8	△ 808	△ 1.5
	そ の 他	23,697	3.5	23,418	3.4	279	1.2
	計	210,875	31.3	213,488	31.4	△ 2,613	△ 1.2
総 額		672,983	100.0	680,889	100.0	△ 7,906	△ 1.2

自主財源と依存財源

区 分		30 年 度		29 年 度		比 較	
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸率
自 主 財 源	県 税	175,779	26.1	175,051	25.7	728	0.4
	諸 収 入	57,997	8.6	62,611	9.2	△ 4,614	△ 7.4
	そ の 他	83,326	12.4	85,957	12.6	△ 2,631	△ 3.1
	計	317,102	47.1	323,619	47.5	△ 6,517	△ 2.0
依 存 財 源	地 方 交 付 税	168,354	25.0	167,688	24.6	666	0.4
	国 庫 支 出 金	79,186	11.8	79,445	11.7	△ 259	△ 0.3
	県 債	82,636	12.3	84,799	12.5	△ 2,163	△ 2.6
	そ の 他	25,705	3.8	25,338	3.7	367	1.4
	計	355,881	52.9	357,270	52.5	△ 1,389	△ 0.4
総 額		672,983	100.0	680,889	100.0	△ 7,906	△ 1.2

2 歳出の内訳

① 目的別内訳

(単位 百万円、%)

区 分	30 年 度		29 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸率
議 会 費	1,482	0.2	1,464	0.2	18	1.2
総 務 費	32,862	4.9	28,739	4.3	4,123	14.2
民 生 費	93,158	13.8	95,817	14.1	△2,659	△2.8
衛 生 費	20,629	3.1	21,763	3.2	△1,134	△5.2
労 働 費	2,449	0.4	2,750	0.4	△301	△10.9
農 林 水 産 業 費	34,791	5.2	34,434	5.1	357	1.0
商 工 費	55,243	8.2	56,156	8.2	△913	△1.6
土 木 費	71,296	10.6	71,296	10.5	0	0.0
警 察 費	39,293	5.8	38,944	5.7	349	0.9
教 育 費	143,887	21.4	144,142	21.2	△255	△0.2
災 害 復 旧 費	5,100	0.7	5,260	0.8	△160	△3.0
公 債 費	98,628	14.7	105,607	15.5	△6,979	△6.6
諸 支 出 金	73,965	11.0	74,317	10.9	△352	△0.5
予 備 費	200	0.0	200	0.0	0	0.0
総 額	672,983	100.0	680,889	100.1	△7,906	△1.2

② 性質別内訳

(単位 百万円、%)

区 分			30 年 度		29 年 度		比 較	
			当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸 率
義 務 的 な 経 費	義 務 的 経 費	人 件 費	178,191	26.5	180,725	26.6	△2,534	△ 1.4
		公 債 費	98,628	14.6	105,607	15.5	△6,979	△ 6.6
		扶 助 費	47,192	7.0	45,861	6.7	1,331	2.9
		税 関 係 交 付 金	73,965	11.0	74,317	10.9	△352	△ 0.5
		計	397,976	59.1	406,510	59.7	△8,534	△ 2.1
投 資 的 経 費		補助公共事業	50,209	7.5	51,509	7.6	△1,300	△ 2.5
		直轄事業負担金	7,382	1.1	7,687	1.1	△305	△ 4.0
		単独公共事業	10,794	1.6	10,863	1.6	△69	△ 0.6
		小 計	68,385	10.2	70,059	10.3	△1,674	△ 2.4
		県営建築事業	14,674	2.2	11,738	1.7	2,936	25.0
		そ の 他	5,082	0.7	3,168	0.5	1,914	60.4
		普通建設事業	88,141	13.1	84,965	12.5	3,176	3.7
		災害復旧事業	5,191	0.8	5,378	0.8	△187	△ 3.5
	計	93,332	13.9	90,343	13.3	2,989	3.3	
そ の 他		物 件 費	17,489	2.6	17,518	2.6	△29	△ 0.2
		維 持 補 修 費	3,618	0.5	3,596	0.5	22	0.6
		補 助 費 等	95,007	14.1	102,226	15.0	△7,219	△ 7.1
		貸 付 金	52,529	7.8	55,285	8.1	△2,756	△ 5.0
		そ の 他	13,032	2.0	5,411	0.8	7,621	140.8
		計	181,675	27.0	184,036	27.0	△2,361	△ 1.3
総 額			672,983	100.0	680,889	100.0	△7,906	△ 1.2

自由民主党山口県支部連合会

〒753-8535 山口市大手町9-11

山口県自治会館5階

TEL.083-925-3121 FAX.083-923-3511